

平成26年度

入学者選抜要項

平成25年7月



変化する、そして進化する。

大分大学

平成26年度入学者選抜方法について

平成 26 年度大分大学入学者選抜の実施教科・科目等の平成 25 年度との主な変更点は次のとおりです。

○教育福祉科学部

情報社会文化課程 情報教育コース

【一般入試前期日程】

年 度	平 成 2 5 年 度	平 成 2 6 年 度
選抜方法等	個別学力検査の教科・科目等 「英語〔英語Ⅱ〕」と 「数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕」 又は「理科〔物理Ⅰ〕〔化学Ⅰ〕〔生物Ⅰ〕 〔地学Ⅰ〕」から1教科（理科は1科目） (複数教科選択可)	個別学力検査の教科・科目等 「英語〔英語Ⅱ〕」と 「国語」又は 「数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学 B〕」から1教科 (複数教科選択可)

人間福祉科学課程 社会福祉コース

【一般入試後期日程】

年 度	平 成 2 5 年 度	平 成 2 6 年 度
選抜方法等	個別学力検査の教科・科目等 「 <u>小論文</u> 」	個別学力検査の教科・科目等 「 <u>面接</u> 」

人間福祉科学課程 生活環境福祉コース 環境分野

【推薦入試】

年 度	平 成 2 5 年 度	平 成 2 6 年 度
出願資格	<p>高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の<u>農、林、水産及び工業</u>に関する学科・課程又は<u>総合学科、理数科</u>を平成 25 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成 24 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、志望する分野への専攻の意志が強く、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学業成績が優秀な者 2. 人物的に優れ、かつ、志望する分野の学習に熱意を有する者 3. 合格した場合は、入学することを確約できる者 	<p>高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成 26 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成 25 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、次のすべてに該当し、志望する分野への専攻の意志が強く、高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学業成績が優秀な者 2. 人物的に優れ、かつ、志望する分野の学習に熱意を有する者 3. 合格した場合は、入学することを確約できる者

※推薦入試においては、下線部分の出願資格を削除する。

目 次

アドミッション・ポリシー	3
1. 募集人員	17
2. 入学者選抜方法等	18
(1) 一般入試	21
(2) 推薦入試	42
(3) アドミッション・オフィス入試（AO入試）	57
(4) 帰国子女入試	59
(5) 中国引揚者等子女入試	60
(6) 社会人入試	61
(7) 私費外国人留学生入試	63
3. 障がいのある者等の事前相談	66
4. 震災により被災した者，または震災や福島原子力発電所事故により 転学等をした者の事前相談	66
5. 入試過去問題の使用について	66
6. 平成 25 年度入学者選抜に関する入試状況	67
7. 平成 27 年度入学者選抜方法について — 予告 —	69
8. 募集要項の発表時期・請求方法	88

大分大学アドミッション・ポリシー

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

意欲をもち、将来への可能性を秘めている人を求めています。

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 旺盛な知的好奇心をもち、新しい課題に積極的に取り組む人
3. 自分のもつ資質を磨き、能力を伸ばしたい人
4. 夢や目的をもち、周囲と協力しつつその実現に向けて努力する人
5. 志をもって国際社会及び地域社会への貢献をめざす人

教育福祉科学部アドミッション・ポリシー

基本理念

教育・人間福祉を基盤とする教育・研究を推進し、地域の教育・社会・文化の発展のため、専門的知識を創造的・総合的に活用できる人材の養成を行い、豊かな共生社会の実現に寄与することです。

教育の目標

- 1 9年間の義務教育を見渡すことのできる広い視野と福祉の心を持ち、教育の現場で澁刺と活躍しうる実践的指導力のある教員を養成します。(学校教育課程)
- 2 「大分から世界へ」を合言葉に国際理解、情報処理、総合的芸術表現に関する教育・研究を行い、国際化社会・高度情報化社会に対応する感性豊かな発想と表現力をもつ人材を育成します。(情報社会文化課程)
- 3 子どもや高齢者、さまざまな障がいをもつ人などを対象とした社会福祉や、すべての人たちが、心身ともに健康で、安心して暮らせる社会の実現をめざす心理・スポーツ健康・生活・環境などの多様な分野で、「人間福祉」の視点をもって活躍しうる人材を養成します。(人間福祉科学課程)

求める学生像

学校教育課程

- ・教育に取り組む意欲と情熱のある人
- ・現代の人間・社会の諸問題に興味・関心のある人
- ・自ら問題を解決しようと努力する人
- ・子どもと信頼しあい、ともに学び行動できる人
- ・他者への思いやりがあり、周囲と積極的に協力しあえる人

情報社会文化課程

- ・知的好奇心が旺盛で、自己表現のための努力を惜しまない人
- ・国際化・高度情報化社会で活躍する意欲のある人
- ・自国と他国の社会や文化に対する理解を深めたい人(社会文化コース)
- ・情報技術を利用して、「情報発信」をめざす人(情報教育コース)
- ・地域文化の創造に貢献する志のある人(総合表現コース)

人間福祉科学課程

- ・すべての人々がともに生きる社会の実現をめざし、自ら考え、実践・努力する人
- ・生活上の困難に出合った人の苦しみや悩みに共感し、ともに解決の方法を考えようとする人(社会福祉コース)
- ・他人の心の痛みを理解し、相互成長的な人間関係づくりをめざす人(心理分野)
- ・健康と生涯スポーツに深い関心を持ち、それに関わる事業や活動に積極的に取り組める人(スポーツ・健康分野)
- ・衣・食・住の各面において、これからのライフスタイルのあり方を構想していける人(生活分野)
- ・人間生活を中心に、自然・社会など個々の生活環境について深い興味と問題意識をもっている人(環境分野)

入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般入試（前期日程・後期日程）のほか推薦入試，社会人入試などを実施し，アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

- ・一般入試（前期日程）

総合的な学力をみるため，大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験は主に5～6教科7科目とし，個別学力検査では募集単位ごとに小論文，教科の試験又は実技検査を課しています。小論文では論理的思考力，表現力（文章構成力を含む）をみます。実技検査では技能，感性，基礎運動能力及び表現力の基本的な資質をみます。

- ・一般入試（後期日程）

総合的な学力をみるため，大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験で指定する教科・科目は募集単位ごとに決められています。また個別学力検査は募集単位ごとに面接又は実技検査を課しています。面接では勉学意欲，積極性，理解力及び自己表現力をみます。

- ・推薦入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，小論文，面接（募集単位によっては実技，作品審査が加わる）及び提出書類（募集単位によっては作品を含む）を総合的に判断して選考します。

- ・帰国子女入試，中国引揚者等子女入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，小論文，面接及び提出書類を総合して選考します。ただし，一部のコースにおいて面接に代えて実技検査を課しています。小論文では論理的思考力，表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では勉学意欲，積極性，理解力及び自己表現力をみます。帰国子女入試は情報社会文化課程及び人間福祉科学課程（生活環境福祉コースを除く）のみで実施しています。

- ・社会人入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，小論文，面接及び提出書類を総合して選考します。ただし，一部のコースにおいて面接に代えて実技検査を課しています。小論文では論理的思考力，表現力をみます。面接では勉学意欲，積極性，理解力及び自己表現力をみます。情報社会文化課程及び人間福祉科学課程（生活環境福祉コースを除く）のみで実施しています。

- ・私費外国人留学生入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，小論文，面接（募集単位によっては実技検査が加わる）及び提出書類を総合して選考します。ただし，出願資格として日本留学試験を受験し所定の要件を満たしていることが必要です。小論文では論理的思考力，表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では勉学意欲，積極性，理解力及び自己表現力をみます。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、習得していることを前提として行われます。このような点から、大学入試センター試験で課している教科・科目について、及び一般入試（前期日程）において各コース・分野で課している教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、習得するとともに、応用的な力を養うことが必要です。特別入試や一般入試（後期日程）においては、これら教科・科目の学科試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、習得していることが望まれます。

国語：言語を通して的確に理解し、論理的に思考し表現すること、なかでも、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。また、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合うことや我が国の言語文化や国語の役割や特質について理解を深めようとする意欲にあふれていることが望まれます。

地理歴史、公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を習得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

数学：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を習得する必要があります。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことも望まれます。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。

理科：理科においては自然や科学に対する関心や探求心を土台として、各科目における基礎的な概念については一定の理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに単に暗記した知識を問題に当てはめるだけではなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも望まれます。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが望まれます。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語の力を持つことが必要です。

経済学部アドミッション・ポリシー

教育理念・目標

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学習することを通じて、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

こうした人たちが今日の高度化・複雑化する社会に柔軟に対応しながら、各方面で真価を發揮するためには、基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を發揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的能力が重要です。そこで、学生の基礎的能力を高めることを本学部の教育目的とします。

この目的を達成するために基礎学力を伸ばすことのできる多様な授業、カリキュラムを編成するとともに、少人数教育に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を育成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

本学部は、経済社会の諸問題に関心をもつ人に対して、その基礎的能力を高めることを教育の目的としています。

したがって、本学部に入学する人は、経済社会への関心や基礎学力を有すると同時に、自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ学生であってほしいと考えています。とくに、いきいきとした好奇心をもち続けられる人、しっかりした自分をもち自己表現ができる人、そして、バイタリティーあふれる人を本学部は求めています。卒業後の進路として、次のような目標をもっている人が入学することを歓迎します。

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事やベンチャービジネスの起業などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば公務員、国税専門官、裁判所職員や警察などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員や研究調査の仕事、また大学院進学などをめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば国際公務員や海外ボランティア、また外国企業で働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場やマスコミ、病院、福祉施設などで働くことをめざす人）

《各学科の特色》

本学部は、次の三つの学科によって構成され、それぞれ特色ある授業を提供しています。

とりわけ地域経済や地域社会に関する豊富な授業は他大学にはみられない充実したもので

す。学生は入学時に学科を決めず、基礎を幅広く学んだのち各自の希望に応じて所属学科を決めますが、学生の多様な関心やニーズに対応し、多面的な学習ができるように所属学科にかかわらず豊富なメニューのなかから自由に選択できるようにしています。

〈経済学科〉

経済学科では、家計、企業、政府などの経済主体の行動から構成される経済現象の全体像について学びます。分析にあたっては、さまざまな経済現象の関連性に着目して、それらの因果関係を明らかにすることを重視します。

〈経営システム学科〉

経営システム学科では、現代企業のかかえる諸問題を正確に分析し、解明するための方法を学びます。基本的には経営学・会計学・商学を中心にして、理論と実践の統合をはかっています。

〈地域システム学科〉

地域システム学科は、地域レベルで生じているさまざまな地域問題を社会学・地理学・社会福祉学・法学・コミュニケーション学などに立脚しながら総合的・学際的にとらえ、その具体的解決策を模索することを目的としています。

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試（普通推薦、商業推薦）、アドミッション・オフィス入試（AO入試）、社会人入試などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることをめざしています。

・一般入試（前期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は5～6教科7科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を選択します。

・一般入試（後期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は4～5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

・推薦入試（普通推薦、商業推薦）

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力をみます。

・アドミッション・オフィス入試（AO入試）

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲を持つ学生を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書及び調査書による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。

小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力をみます。

- ・帰国子女入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

- ・社会人入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

- ・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査(数学または英語から1教科選択)、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

- ・第3年次編入学

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

経済学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力

地理歴史、公民：各科目の基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心

数学：各科目の内容を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）

理科：各科目の基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心

医学部アドミッション・ポリシー

基本理念

医と看護に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学及び看護学の知識並びに技術，そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師，更には医学，看護学研究者を養成し，これら学問の進歩，国民の健康の維持増進，医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

教育の目標

医学科

患者の立場を理解した全人的医療を行い，豊かな教養と人間性，高度の学識，問題解決能力，生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

看護学科

人々が心身ともに健康な生活を営めるよう，適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の習得を促し，看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上，ひいては国際社会への貢献ができるよう，豊かな人間性を備えた人材を養成します。

求める学生像

医学科

- 1 医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 患者の痛みを分かち合い，患者に対する思いやりに満ちた慈愛の心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 3 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を習得するため，たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- 4 他者の意見を良く聞き，協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人

看護学科

- 1 看護を通して社会に貢献しようとする意志と，他者の喜び，苦しみを分かち合える温かい心を持っている人
- 2 日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の習得のため，たゆまぬ努力と自己研鑽（生涯学習）を重ねる人
- 3 国の内外を問わず，社会に起こっている問題に関心を持ち，それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人
- 4 何ごとにも積極性を持ち，多くの人と交流ができる社会性を備えている人

入学者選抜の基本方針

医学科

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために，医学科では，一般入試とアドミッション・オフィス入試を実施し，それぞれの選抜の趣旨に従って，多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また，医学以外の学問を修めた大学卒業者を対象に2年次後学期への学士編入学を実施しています。

- ・一般入試（前期日程）

一般入試では、高等学校等での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験は5教科7科目を課しています。個別学力検査では、前期日程において、理科（物理・化学・生物から2科目選択）、数学、英語の3教科の学力を測るとともに、面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等、受験者の素養を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

- ・アドミッション・オフィス入試（AO入試）

AO入試とは、従来の高等学校長による推薦ではなく自己推薦による入試であり、本学部アドミッション・ポリシーに掲げた求める学生像について、学力のみで選抜するものとは異なり、丁寧な面接により適性等を評価し選抜するものです。一般入試と同じく大学入試センター試験は、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、5教科7科目を課しています。面接では、個人面接と集団面接を行い、医学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・リーダーシップ・協調性・独創性等を評価します。また、自己推薦書、調査書及び特別活動に関する調査書から、志願者がどのような高校生活を送ってきたかを、課外活動やボランティア活動、資格等を中心に評価します。

- ・学士編入学

学士編入学では、多様な専門能力、明確な問題意識や高い問題解決能力を有する人材並びに地域医療の場で活躍できる人材を受け入れるため、次のような3段階による選抜方法を実施しています。第1次選抜では小論文を含む書類審査を、第2次選抜では生命科学に関する総合問題と英語の学力審査を、第3次選抜では個人面接と課題発表形式を取り入れた集団面接を行っています。

看護学科

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、看護学科では、一般入試と推薦入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業者を対象とした3年次編入学を実施しています。

- ・一般入試（前期日程・後期日程）

一般入試では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験については5教科6科目を課しています。また、個別学力検査については、前期日程では小論文を課すことにより、論理的思考力・表現力・読解力・看護学を学ぶための適性等を評価します。後期日程では面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

- ・推薦入試

推薦入試では、大学入試センター試験を免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接と集団面接を行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。その際、高等学校長等の推薦書及び調査書を参考資料とします。

- ・社会人入試

社会人入試では、社会人としての経験を看護の分野に活かしてゆくことのできる有能な人材を受け入れるため、大学入試センター試験を免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接と集団面接を行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。

・ 3年次編入学

短期大学の看護系学科及び看護系専修学校の卒業生等に、看護に対する専門能力及び指導能力をより高める機会を提供することを目的として、3年次への編入学を実施し、英語と総合問題と面接を課しています。総合問題では、専門基礎科目並びに専門科目に関する基礎知識・問題解決能力・統合能力を測り、面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

医学・医療を学ぶには、十分な基礎学力に加えて幅広い教養と他者への共感性、倫理性、社会的常識を備えていることが不可欠です。医学部の教育は、高等学校教育全科にわたって以下に掲げる基礎的な知識、技能、思考力、体力等をバランスよく身につけていることを前提として行なわれます。合格時に不足している項目については、入学までに確実に習得することが必要です。

医学科

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力，論理的思考力，コミュニケーション能力

地理歴史，公民：各科目の基礎的知識，社会的常識と思考力

数学：理系数学（数Ⅲ・数Ⅱの範囲まで）の知識，応用力と数理的思考力

理科：物理Ⅰ・Ⅱ，化学Ⅰ・Ⅱ，生物Ⅰ・Ⅱの知識と理学的思考力

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力，外国語文献を読解し，外国語で発表する基礎的語学力

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能

看護学科

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力，論理的思考力，コミュニケーション能力

地理歴史，公民：社会科学的な基礎知識と思考力

数学：数学Ⅰまたは数学Ⅱの基礎的知識，応用力と数理的思考力

理科：物理Ⅰ，化学Ⅰ，生物Ⅰの知識と理学的思考力

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力，会話力

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能

工学部アドミッション・ポリシー

基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することです。

教育の目標

学生の立場にたった教育体制のもとで、自らの課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を備えるとともに、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成することです。

求める学生像

環境や社会に対する影響も予見しながら自然との共生や、真に人類に役立つ技術とは何かを自ら考え、先進的科学技术によって人類福祉に貢献する意欲をもち将来への可能性を秘めている人を求めています。

以上の観点と本学の求める学生像から、具体的には、次のような人を求めています。

- 1 工学の基礎をなす科目に対して基礎学力を備え、広範囲な事象に対して強い知的好奇心をもっている人
- 2 新しい課題を自ら見いだす着想力をもち、この課題に立ち向かう強い意志とねばり強さをもっている人
- 3 豊かな感性と表現力をもち、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく姿勢をもっている人
- 4 技術者として、国際舞台でリーダーシップと行動力を発揮することに強い意志をもっている人

特に、各学科では、次のような人を求めています。

〈機械・エネルギーシステム工学科〉

本学科は、機械に関する基礎技術と利用技術、メカトロニクス、ロボティクスなどの制御の分野、新エネルギー、エネルギーの有効利用に関する技術開発および利用技術に重点を置く、機械工学・電気工学の総合的な教育と研究を行います。

以上のような教育理念に基づき、本学科では次のような人を求めています。

- 1 数学及び物理に関する基礎学力を備え、国語及び英語に関する基礎的な語学力も有し、自分の意見を論理的に説明できる人
- 2 自ら問題を見だし、計画的にその解決をめざすことができるリーダーシップと行動力をもっている人
- 3 ものづくりに興味があり、そのために必要な深い専門知識を身につけて創造的技術者や研究者となることをめざし、それによって人のために役立ちたいという強い意志をもっている人
- 4 地球規模での課題に問題意識をもち、それらの課題と技術との融合について関心をもっている人

〈電気電子工学科〉

本学科は、電気、電子、情報、通信等に代表される電気電子工学の広範な分野の中で、社会や環境に対する影響も予見しながら、人類の幸福・福祉に役立つ技術とは何かを積極的に考え、技術の発展や学問の進展に貢献することのできる人材の育成を目的にしています。

以上のような観点から、本学科では次のような人を求めています。

- 1 高等学校での基礎的な学習内容をよく理解して、電気電子工学並びに幅広い教養を学ぶための基礎学力をもっている人
- 2 現代社会の抱える課題や科学技術に関心があり、自ら学び理解しようという知的好奇心をもっている人
- 3 何事にも積極的にチャレンジする行動力をもっている人

〈知能情報システム工学科〉

本学科は、人の知を拡大する新世代知的IT（情報技術）革命の担い手となる国際的技術者・研究者を育てるという教育理念に基づき、次のような人を求めています。

- 1 情報科学の基礎から情報・知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組むことができる基礎的な能力と旺盛な知的好奇心をもっている人
- 2 高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人
- 3 豊かな感性と表現力・コミュニケーション能力をもち、自ら考えて行動し、夢の実現に向かってチャレンジすることができる人

〈応用化学科〉

私達が将来にわたって地球上で共存し幸福に暮らしていくためには、エネルギー・情報・環境に関して生じてくる複雑な問題を科学的に解決していかなければなりません。化学は物質の存在形態と変化の本質を明らかにしようとする学問ですから、種々の課題の解決における化学の知識と技術の重要性は、新しく形を変えつつますます大きくなってきています。

本学科は、私達の生産活動、毎日の生活や自然現象を化学的な立場から自ら進んで考え、化学技術によって人類福祉に貢献することのできる技術者、研究者の養成を目標にしています。

応用化学科の教職員は、一生懸命自分を高めようと頑張る学生諸君を力いっぱい支援します。

以上の観点から、本学科では次のような高校生や社会人を求めています。

- 1 自然界や人間社会、産業社会のさまざまな現象について常に科学的・化学的観点から興味をもつことができる人
- 2 工学を学ぶために必要な、数学、化学とともに物理あるいは生物について基礎学力をもっている人
- 3 英語、国語の基礎的語学能力をもとに、与えられた課題について論理的かつ自由な発想で考え、意見を発表することができる人
- 4 学習の目標を達成する強い意志をもっている人

〈福祉環境工学科〉

本学科は、すべての人が幸福を感じられる高度福祉社会を、工学的側面から実現するための研究開発と人材養成を行うことを理念にしており、このような目標に向かって努力できる人を求めています。

・建築コース

建築は生活の器として人間に密接な存在であり、都市や地域の環境を構成する基本的な要素です。そのため、建築には自然と共生しながら、人間生活の安全性・快適性を追求し、その質を向上させながら、長年にわたって持続させていくことが要求されます。したがって、自然科学や工学の分野だけでなく、人文、社会科学から芸術にわたる幅広い知識が必要となります。

本コースでは、高度化・多様化・国際化している社会のニーズに対応できる豊かな発想力、豊かな人間性及び幅広い見識を兼ね備えた建築家、建築技術者、研究者の育成を目標としています。そのため本コースでは以下のような意欲と情熱をもつ人を求めています。

- 1 工学、人文、社会科学並びに芸術の分野に関心があり、幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
- 2 あらゆる立場の人とコミュニケーションできる能力と見識を有する技術者になりたいという旺盛な意欲をもっている人
- 3 自ら課題を見つけだし、それを解決できる行動力と柔軟な思考力を獲得するため努力をする人

・メカトロニクスコース

機械部品と電気部品とその制御装置が複合されたメカトロニクス装置 (= Mechanics + Electronics, ロボットはその一例)は、多くの人の負担を軽減すると共に、今まで人にしかできなかった作業も可能にしつつあります。

本コースは、このメカトロニクス装置に関する技術を通じて社会のニーズに貢献するメカトロニクス技術者・研究者の育成を目標とし、次のような人材を求めています。

- 1 自分の力を人々の生活の質の向上に役立てようとする気持ち『福祉マインド』を持ち、これを育もうとする人
- 2 理工学、人文並びに社会科学の分野に関心があり、メカトロニクスに関する幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
- 3 国際的なコミュニケーション能力を有する技術者になりたいという強い意志をもっている人
- 4 自ら課題を見つけだし、それを解決できる行動力と柔軟な思考力をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般入試（前期日程・後期日程）のほか推薦入試、帰国子女入試、私費外国人留学生入試などを実施し、アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

・一般入試（前期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）および個別学力検査（数学、理科）により、専門分野の学習に必要な基礎学力を見ます。

・一般入試（後期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）により、専門分野の学習に必要な基礎学力を見るとともに、個別学力検査（面接）により、専門分野への関心や意欲と自己表現力を見ます。

・推薦入試

大学入試センター試験および個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、基礎能力試験および面接により総合的に評価し、選抜します。基礎能力試験では、いくつかの設問を通じて、基礎能力を含む論理的思考力、課題解決能力を見ることで、受験者の工学分野への適性をはかります。また面接では、専門分野への関心・意欲・理解を見るとともに、積極性、自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み、理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・帰国子女入試

大学入試センター試験を免除し、本学で実施する学力検査（数学、理科、英語）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、専門分野への関心・意欲・理解を

見るとともに、積極性、自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み、理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学，理科，英語），面接により総合的に評価し，選抜します。面接では，日本語能力，専門分野への関心・意欲・理解を見るときともに，積極性，自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み，理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・第3年次編入学

面接，提出書類により総合的に評価し，選抜します。面接では，簡単な筆記試験及び口頭試問により，基礎学力や専門分野の学力を見るときともに，専門分野への意欲，積極性，論理的思考力，自己表現力についても評価します。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

工学部の教育においては，高等学校において学習する下記のような教科・科目の内容を理解していることが望まれます。高等学校の教育課程や入試区分等の違いもあるため，理解のレベルは個人によりそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については，入学までに身につけるよう期待します。

国語：基礎的な文章読解力，論理的説明能力，作文能力

地理歴史，公民：地理，歴史，経済，社会などの基礎的な知識

数学：「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」

理科：「物理Ⅰおよび物理Ⅱ」，「化学Ⅰおよび化学Ⅱ」

外国語（英語）：基礎的な文章読解力およびコミュニケーション能力

1. 募集人員

学部	学科・課程・コース	入学定員	募集人員								
			一般入試				推薦入試		AO入試		
			前期日程		後期日程						
教育福祉科学部	発達教育コース【注1】	25	19【注4】②④		6						
	特別支援教育コース	10	3【注4】②④		2		5				
	学校教育課程 教科教育コース【注1】	65	小論文と国語	6名程度	41 【注4】 ②④	11	音楽選修 美術選修 保健体育選修 家庭科選修	2	9		
			小論文と社会認識	6名程度				2			
			小論文と数学	6名程度				2			
			小論文と理科	6名程度				2			
			小論文と実技(音楽)	3名程度				3			
	小論文と実技(美術)	3名程度									
	小論文と実技(保体)	3名程度									
	小論文と生活認識	2名程度									
小論文と英語	6名程度										
小計	100	63		19		18					
情報社会文化課程	社会文化コース	15	7【注4】①②③④		3		5				
	情報教育コース	20	11【注4】①②③④		4		5				
	総合表現コース	15	7【注4】①②③④		3		5				
	小計	50	25		10		15				
人間福祉科学課程	社会福祉コース	35	24【注4】①②③④		5		普通推薦 5 福祉推薦 1	6			
	心理健康福祉コース【注1】	30	心理分野	7	14 【注4】 ①② ③④	心理分野	3	8	5		
			スポーツ・健康分野	7		スポーツ・健康分野	5		3		
	生活環境福祉コース【注1】	30	生活分野	10	20 【注4】 ②④	生活分野	3	6	2		
			環境分野	10		環境分野	3		2		
小計	95	58		19		18					
計	245	146		48		51【注3】					
経済学部	経済学科	130	120		90【注4】①③④		普通推薦 50 商業推薦 30		英語資格 5 簿記資格 10		
	経営システム学科	130									
	地域システム学科	45									
	計【注2】	305									80
医学部	医学科	100	65		-		-		35 (地域枠10を含む)		
	看護学科	60	35		15【注4】③		10				
	計	160	100		15		10		35【注3】		
工学部	機械・エネルギーシステム工学科	80	53【注4】①④		15		A推薦9 B推薦3	12			
	電気電子工学科	80	52【注4】①④		14		A推薦11 B推薦3	14			
	知能情報システム工学科	70	44【注4】①④		11		A推薦10 B推薦5	15			
	応用化学科	60	38【注4】①④		10		A推薦10 B推薦2	12			
	福祉環境工学科	建築コース	50	35【注4】①④		10		B推薦5		5	
		メカトロニクスコース	30	16【注4】①④		6		A推薦6 B推薦2	8		
	計	370	238		66		66【注3】				
合計	1080	604		219		207		50			

【注1】教育福祉科学部のコース内の所属について

ア) 学校教育課程発達教育コース及び教科教育コースの入学者は、本人の希望と1年生前学期における成績をもとに、1年生後学期から次の各選修への所属を決定します。

発達教育コース「教育学(10)」「教育心理学(10)」「幼年教育(5)」

教科教育コース「国語(8)」「社会(8)」「数学(8)」「理科(8)」「音楽(5)」「美術(5)」「保健体育(5)」「技術(5)」「家庭科(5)」「英語(8)」

※ ()内は推薦入試等他の入試での入学者を含めた各選修のおおよその定員です。

イ) 人間福祉科学課程心理健康福祉コース及び生活環境福祉コースの入学者は、入学後直ちに合格した分野に所属します。

心理健康福祉コース「心理分野」「スポーツ・健康分野」 生活環境福祉コース「生活分野」「環境分野」

【注2】経済学部は、入学後に所属学科を決定します。

【注3】推薦入試、AO入試の入学者が募集人員に満たなかった場合は、一般入試(前期日程)から補充することがあります。

【注4】募集人員には、①帰国子女入試(若干名)、②中国引揚者等子女入試(若干名:教育福祉科学部のみ)、③社会人入試(若干名)、④私費外国人留学生入試(若干名)の募集人員を含みます。

2. 入学者選抜方法等

平成26年度入学者選抜方法等（一般入試，専門高校・総合学科卒業生入試）【前期日程】

選抜方法等	学部・学科等名	個別学力検査等							専門高校・総合学科卒業生入試					個別学力検査等の日程	備考（欠員の補充の方法等）			
		実技検査等			2段階選抜				実技検査等									
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	第1段階の選抜による合格者数	主として調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行いその合格者について更に必要な検査等を行う	定員に対する倍率	その他	個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う			小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	募集人員
教育福祉科学部	学校教育課程（発達教育コース）	○	×	×	○	×											2月25日 実技検査は 2月26日	追加合格
	学校教育課程（特別支援教育コース）																	
	学校教育課程（教科教育コース）	①	①	×	○	×												
	情報社会文化課程（社会文化コース）	○	×	×	×	×												
	情報社会文化課程（情報教育コース）																	
	情報社会文化課程（総合表現コース）	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	人間福祉科学課程（社会福祉コース）																	
	人間福祉科学課程（心理健康福祉コース〈心理分野〉）	○	×	×	○	×												
	人間福祉科学課程（心理健康福祉コース〈スポーツ・健康分野〉）	○	○	×	×	×												
人間福祉科学課程（生活環境福祉コース）	○	×	×	○	×													
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日		
医学部	医学科 看護学科	○	×	○	×	×	○	約3倍	×	×	×	×	×	×	×	2月25日 面接（医学科）は 2月26日		
工学部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日		

注1. 各欄の○は該当することを，×は該当しないことを示します。

注2. ①は選択する科目によりどちらかが課されます。

選抜方法等 学部・学科等名		個別学力検査等						専門高校・総合学科 卒業生入試					個別学力検査等の日程	備考（欠員の補充の方法等）		
		実技検査等			2段階選抜			実技検査等								
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	第1段階の選抜による合格者数	定員に対する倍率	個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する			外国語におけるリスニングテストを課する	募集人員
教育福祉科学部	学校教育課程 （発達教育コース） （特別支援教育コース） （教科教育コース） 情報社会文化課程 （社会文化コース） （情報教育コース） 人間福祉科学課程 （社会福祉コース） （心理健康福祉コース 〈心理分野〉） （生活環境福祉コース 〈生活分野〉） （生活環境福祉コース 〈環境分野〉）	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格	
	情報社会文化課程 （総合表現コース） 人間福祉科学課程 （心理健康福祉コース 〈スポーツ・健康分野〉）	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×			
医学部	看護学科	×	×	○	×	×	○	約7倍	×	×	×	×	×			
工学部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			

注. 各欄の○は該当することを，×は該当しないことを示します。

平成26年度入学者選抜方法等 (推薦入試等)

選抜方法等 学部・学科等名		推薦入試					推薦入試 募集人員	AO入試 募集人員	帰国子女、社会人等 のための特別入試				備考	
		入学定員の一部について、出身 学校長の推薦に基づき、学力検 査を免除し調査書を主な資料 として判定します。							実技検査等	帰 国 子 女	中 国 引 揚 者 等 子 女	社 会 人		私 費 外 国 人 留 学 生
		実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外 国 語 に お け る リ ス テ ン グ を 課 す る	そ の 他								
教育 福 祉 科 学 部	学校教育課程 (発達教育コース) (教科教育(国語, 社会, 数学, 理科, 英語))	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	各募集人員 ごとの推薦 基準等につ いては各選 抜方法(推薦 入試, AO入 試, 帰国子女 入試, 中国引 揚者等子女 入試, 社会人 入試, 私費外 国人留学生 入試)を参照 してくださ い。	
	学校教育課程 (特別支援教育コース)						5							
	学校教育課程 (教科教育コース(保健体育選修))						2	×	×	○	×	○		
	学校教育課程 (教科教育コース(技術選修))						2(普通推薦) 2(工業推薦)							
	学校教育課程 (教科教育(家庭科選修))						3							
	情報社会文化課程 (社会文化コース)	×	○	○	×	×	5	×	○	○	○	○		
	情報社会文化課程 (情報教育コース)						5							
	人間福祉科学課程 (社会福祉コース)						5(普通推薦) 1(福祉推薦)							
	人間福祉科学課程 (心理健康福祉コース(心理分野))						5							
	人間福祉科学課程 (生活環境福祉(生活分野))						2	×	×	○	×	○		
	人間福祉科学課程 (生活環境福祉(環境分野))						2							
	学校教育課程 (教科教育(音楽選修))	○	○	○	×	×	2							
	学校教育課程 (教科教育(美術選修))	○	○	×	×	○	2							
	情報社会文化課程 (総合表現コース)						5	×	○	○	○	○		
	人間福祉科学課程(心理健康福祉コ ース(スポーツ・健康分野))	○	○	○	×	×	3							
経済 学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	×	○	○	×	×	50 (普通推薦) 30 (商業推薦)	5 (英語資格) 10 (簿記資格)	○	×	○	○		
	医学部	×	×	×	×	×	×	25 (一般枠) 10 (地域枠)	×	×	×	×		
	看護学科	×	○	○	×	×	10	×	×	×	○	×		
工 学 部	機械・エネルギーシステム工学科						9(A推薦) 3(B推薦)	×	○	×	×	○		
	電気電子工学科						11(A推薦) 3(B推薦)							
	知能情報システム工学科	×	○	×	×	○	10(A推薦) 5(B推薦)							
	応用化学科						10(A推薦) 2(B推薦)							
	福祉環境工学科(建築コース)						5(B推薦)							
	福祉環境工学科(マイクロコース)						6(A推薦) 2(B推薦)							
							2(B推薦)							

注 各欄の○印は該当することを、×印は該当しないことを示します。

(1) 一般入試

① 志望学部・学科等

国立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般入試（個別学力検査）について、前期日程から1つ、後期日程から1つの合計2つの大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

(1) 教育福祉科学部

志望できるコース・分野は、前期日程及び後期日程とも1つのみです。

(2) 経済学部

前期日程及び後期日程とも募集人員を一括して募集し、入学後に経済学科、経営システム学科又は地域システム学科の専攻を決定します。

(3) 医学部

志望できる学科は、前期日程及び後期日程とも1つのみです。（ただし、医学部医学科は後期日程は実施しません。）

(4) 工学部

ア) 志望できる学科は、前期日程及び後期日程とも第3志望まで認めます。ただし、福祉環境工学科については、建築コースとメカトロニクスコースでコース別に募集します。従って、第1～第3志望を選択するときは、機械・エネルギーシステム工学科、電気電子工学科、知能情報システム工学科、応用化学科、福祉環境工学科（建築コース）、福祉環境工学科（メカトロニクスコース）の中から志望順に3つまでを選択することになります。

イ) 前期日程において、**第2志望以下での個別学力検査の理科の受験科目**は入学者選抜の実施教科・科目等（37ページ）を参照してください。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

② 出願資格

平成26年度大学入学者選抜「**大学入試センター試験**」で本学が指定する**教科・科目を受験した者**で、次のいずれかに該当する者です。

(1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業した者及び平成26年3月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成26年3月修了見込みの者

(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成26年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課へ申し出てください。

<参考>学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地
大分大学学生支援部入試課 TEL097-554-7471

- ※1. 学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、本学では実施しません。
2. 出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

③ 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。

(1) 調査書について

出身高等学校長等が作成したものとします。

(2) 過年度の大学入試センター試験成績の利用について

本学では平成26年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

(3) 第1段階選抜について

医学科及び看護学科において、入学志願者が著しく多い場合は、大学入試センター試験の成績(傾斜後の得点)により、次のとおり第1段階選抜を行います。

①前期日程

医学科は募集人員の約3倍、看護学科は募集人員の約6倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

②後期日程

看護学科は募集人員の約7倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

④ 平成26年度大分大学入学者選抜の実施教科・科目等及び配点

教科・科目名の表記方法について

1 大学入試センター試験の利用教科・科目名は、次のように略しています。

- ・ 国語→国
『国語』→「国」
 - ・ 地理歴史→地歴
「世界史A」→「世A」, 「世界史B」→「世B」, 「日本史A」→「日A」,
「日本史B」→「日B」, 「地理A」→「地理A」, 「地理B」→「地理B」
 - ・ 公民→公民
「現代社会」→「現社」, 「倫理」→「倫」, 「政治・経済」→「政経」,
『倫理, 政治・経済』→「倫・政経」
 - ・ 数学→数
「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」, 『数学Ⅰ・数学A』→「数Ⅰ・数A」,
「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」, 『数学Ⅱ・数学B』→「数Ⅱ・数B」,
「工業数理基礎」→「工」, 『簿記・会計』→「簿」, 『情報関係基礎』→「情報」
 - ・ 理科→理
「理科総合A」→「理総A」, 「理科総合B」→「理総B」,
「物理Ⅰ」→「物Ⅰ」, 「化学Ⅰ」→「化Ⅰ」,
「生物Ⅰ」→「生Ⅰ」, 「地学Ⅰ」→「地学Ⅰ」
 - ・ 外国語→外
『英語』→「英」, 『ドイツ語』→「独」, 『フランス語』→「仏」, 『中国語』→「中」,
『韓国語』→「韓」
- (注) 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

2 個別学力検査の出題教科・科目名は、上記1によるほか次のように略しています。

- ・ 「数学A」→「数A」, 「数学B」→「数B」, 「数学C」→「数C」, 「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」
- ・ 「英語Ⅰ」→「英Ⅰ」, 「英語Ⅱ」→「英Ⅱ」,
- ・ 「物理Ⅱ」→「物Ⅱ」, 「化学Ⅱ」→「化Ⅱ」, 「生物Ⅱ」→「生Ⅱ」

◎36～38 ページの「各欄の注意事項」も確認してください。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成25年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
教育福祉 科学部 〔5.5〕 245人 前期 146 後期 48 推薦 51	発達教育 25人 前期 19 後期 6	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	外 その他	英II 小論文	
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	その他	面接	
		前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	国 数 外 その他	国 数I・数II・数A・数B } から1 英II 小論文 ※国は「国語総合」に「国語表現I, 現代文, 古典」 数Bは「数列, ベクトル」	
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	その他	面接	
	特別支援 教育 10人 前期 3 後期 2 推薦 5	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	国 数 外 その他	国 数I・数II・数A・数B } から1 英II 小論文 ※国は「国語総合」に「国語表現I, 現代文, 古典」 数Bは「数列, ベクトル」	
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	その他	面接	
	教科教育 65人 前期 41 後期 11 推薦 13	前期 2月25日	国 数	数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1	国 その他	国 小論文 ※国は「国語総合」に「国語表現I, 現代文, 古典」	
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } ※1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I	その他 その他	社会認識を問う問題 小論文	
			公民 理	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	数 その他	数I・数II・数A・数B 小論文 ※数Bは「数列, ベクトル」	
			外				

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」から1科目, 又は「理科」から2科目と「地理歴史」及び「公民」から1科目
 ※2 「地理歴史」においては, 同一名称のA・B出題科目, 「公民」においては, 同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												その他の 入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計	
センター試験	100	50×2	50×2	(50)	100						450	中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査					100		100				200	
計	100	100	100	(50)	200		100				650	
センター試験	100	50×2	50×2	(50)	100						450	追加合格
個別学力検査								100			100	
計	100	100	100	(50)	100			100			550	
センター試験	100	50×2	50×2	(50)	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査	(100)		(100)		(100)		100				200	
計	(200)	100	(200)	(50)	(200)		100				650	
センター試験	100	50×2	50×2	(50)	100						450	追加合格
個別学力検査								100			100	
計	100	100	100	(50)	100			100			550	
センター試験	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査	100						100				200	
計	200	(100)	100	(100)	100		100				650	
センター試験	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100						450	追加合格
個別学力検査		社会 認識 問題 100					100				200	
計	100	(200)	100	(100)	100		100				650	
センター試験	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100						450	追加合格
個別学力検査			100				100				200	
計	100	(100)	200	(100)	100		100				650	

◎36～38 ページの「各欄の注意事項」も確認してください。

学部・学科等名及び入学定員等 〔平成25年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	
教育福祉科学部 [5.5] 245人 前期 146 後期 48 推薦 51	学校教育課程	教科教育 65人 前期 41 後期 11 推薦 13	前期 2月25日	国教 国 数Ⅰ・数Ⅱ 数Ⅱ・数Ⅲ, 工, 簿, 情報から1 世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱ	理 その他	物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから1 小論文	
			前期 2月25日 と26日	地歴 公民 理 外 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 理総Ⅰ, 理総Ⅱ, 物Ⅰ, 化Ⅰ, } ※2 生Ⅰ, 地学Ⅰ 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目又は6教科7科目]			
		前期 2月25日	国教 地歴 公民 理 外 数Ⅰ・数Ⅱ 数Ⅱ・数Ⅲ, 工, 簿, 情報から1 世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱ } ※1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 理総Ⅰ, 理総Ⅱ, 物Ⅰ, 化Ⅰ, } ※2 生Ⅰ, 地学Ⅰ 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目又は6教科7科目]	その他 その他	実技(美術) 小論文		
				その他 その他	実技(保健体育) 小論文		
		後期 3月12日	その他 その他	生活認識を問う問題 小論文			
		後期 3月12日	その他 その他	英Ⅱ 小論文			
情報社会文化課程	社会文化 15人 前期 7 後期 3 推薦 5	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外 世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱ } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数Ⅰ・数Ⅱ 数Ⅱ・数Ⅲ, 工, 簿, 情報から1 理総Ⅰ, 理総Ⅱ, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目又は6教科7科目]	国 外	国 英Ⅱ	※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ, 現代文, 古典」	
		後期 3月12日	国 地歴 公民 外 世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱ } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科3科目]	その他	面接		

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」から1科目、又は「理科」から2科目と「地理歴史」及び「公民」から1科目
 ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												その他の 入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計	
センター試験	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査				100			100				200	
計	100	(100)	100	(200)	100		100				650	
センター試験	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100						450	
個別学力検査							100	100			200	
計	100	(100)	100	(100)	100		100	100			650	
センター試験	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100						450	
個別学力検査							100	100			200	
計	100	(100)	100	(100)	100		100	100			650	
センター試験	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100						450	
個別学力検査							100	100			200	
計	100	(100)	100	(100)	100		100	100			650	
センター試験	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100						450	
個別学力検査							100	100			200	
計	100	(100)	100	(100)	200		100				650	
センター試験	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100						450	
個別学力検査									100		100	
計	100	(100)	100	(100)	100				100		550	
センター試験	100	50×2	50×2	(50)	100						450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人 追加合格
個別学力検査	100				100						200	
計	200	100	100	(50)	200						650	
センター試験	150	(100)			150						400	
個別学力検査									100		100	
計	150	(100)			150				100		500	

◎36～38 ページの「各欄の注意事項」も確認してください。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成25年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査				
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜		
教育福祉 科学部 〔5.5〕 245人 前期 146 後期 48 推薦 51	情報教育 20人 前期 11 後期 4 推薦 5	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	外国 数	英II 国 数I・数II・数A・数B } から1 ※国は「国語総合」に「国語表現I, 現代文, 古典」 ※数Bは「数列, ベクトル」		
		後期 3月12日	国 数 理 外	国 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔4教科5科目〕	その他	面接		
	総合表現 15人 前期 7 後期 3 推薦 5	前期 2月26日	国 地歴 公民 理 数 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I } ※3 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3～4科目〕	その他	実技		
		後期 3月12日	国 外	国 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔2教科2科目〕	その他	実技		
	人間福祉 科学課程	社会福祉 35人 前期 24 後期 5 推薦 6	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, } から2 地理A, 地理B } ※2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	外 その他	英II 小論文	
			後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, } から2 地理A, 地理B } ※2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	その他	面接	

※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 ※3 「地理歴史」, 「公民」及び「理科」から1科目, 又は「数学」から2科目

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等												その他の 入試方法等
試験の区分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	家 庭	小論文	実 技	面 接	調 査 書	配 点 合 計	
センター試験	100	(50)	50×2	50×2	100						450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人 追加合格
個別学力検査	(100)		(100)		100						200	
計	(200)	(50)	(200)	100	200						650	
センター試験	100		50×2	(50)	150						400	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人 追加合格
個別学力検査									100		100	
計	100		100	(50)	150				100		500	
センター試験	100	(100)	50×2		100						300	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人 追加合格
個別学力検査				(100)				350			350	
計	100	(100)	(100)	(100)	100			350			650	
センター試験	100				100						200	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人 追加合格
個別学力検査								300			300	
計	100				100			300			500	
センター試験	100	50×2	50×2	(50)	100						450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人 追加合格
個別学力検査					100		100				200	
計	100	100	100	(50)	200		100				650	
センター試験	100	50×2	50×2	(50)	100						450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人 追加合格
個別学力検査									150		150	
計	100	100	100	(50)	100				150		600	

◎36～38 ページの「各欄の注意事項」も確認してください。

学部・学科等 及び入学定員 等 〔平成25年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
教育福祉 科学部 〔5.5〕 245人 前期 146 後期 48 推薦 51 人間福祉科学課程 前期 14 後期 8 推薦 8 スポーツ・健康分野 生活環境福祉 30人 前期 20 後期 6 推薦 4	前期 2月25日	国 地歴	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 公民 } ※2 数 } 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	国 数 外 その他	国 数I・数II・数A・数B } から1 英II 小論文 ※国は「国語総合」に「国語表現I, 現代文, 古典」 数Bは「数列, ベクトル」	
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 公民 } ※2 数 } 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	その他	面接
	前期 2月25日 と26日	国 地歴	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 公民 } ※2 数 } 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	国 数 外 その他	国 数I・数II・数A・数B } から1 英II 実技 ※国は「国語総合」に「国語表現I, 現代文, 古典」 数Bは「数列, ベクトル」	
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 公民 } ※2 数 } 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	その他	実技
	前期 2月25日	国 数	国 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } ※1 公民 } ※2 理 } 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	国 数 外 その他	国 数I・数II・数A・数B } から1 英II 小論文 ※国は「国語総合」に「国語表現I, 現代文, 古典」 数Bは「数列, ベクトル」	
		後期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } ※1 公民 } ※2 理 } 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	その他	面接

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」から1科目, 又は「理科」から2科目と「地理歴史」及び「公民」から1科目
 ※2 「地理歴史」においては, 同一名称のA・B出題科目, 「公民」においては, 同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等											その他の 入試方法等	
試験の区分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	家 庭	小論文	実 技	面 接	調査書		配 点 合 計
センター試験	100	50×2	50×2	(50)	100						450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人 追加合格
個別学力検査	(100)		(100)		(100)		100				200	
計	(200)	100	(200)	(50)	(200)		100				650	
センター試験	100	50×2	50×2	(50)	100						450	
個別学力検査									150		150	
計	100	100	100	(50)	100				150		600	
センター試験	100	50×2	50×2	(50)	100						450	
個別学力検査	(100)		(100)		(100)		100				200	
計	(200)	100	(200)	(50)	(200)		100				650	
センター試験	100	50×2	50×2	(50)	100						450	
個別学力検査									150		150	
計	100	100	100	(50)	100				150		600	
センター試験	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100						450	
個別学力検査	(100)		(100)		(100)		100				200	
計	(200)	(100)	(200)	(100)	(200)		100				650	
センター試験	100	50×2 (50)	50×2	(50) 50×2	100						450	
個別学力検査									150		150	
計	100	(100)	100	(100)	100				150		600	

◎36～38 ページの「各欄の注意事項」も確認してください。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成25年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査				
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜		
教育福祉 科学部 〔5.5〕 245人 前期 146 後期 48 推薦 51	生活環境 福祉 30人 前期 20 後期 6 推薦 4	環境 分野	前期 2月25日	国 地歴 公民 教 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	理 その他	物I, 化I, 生I, 地学Iから1 小論文	
			後期 3月12日	国 地歴 公民 教 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	その他	面接	
経済学部 〔3.9〕 305人 前期 120 後期 90 AO 15 推薦 80	経済学科 経営システム 学科 地域システム 学科		前期 2月25日	国 地歴 公民 教 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	教 外	数I・数II・数A・数B 英I・英II・リーディング・ ライティング } から1 ※数Bは「数列, ベクトル」	
			後期 3月12日	国 地歴 公民 教 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数I, 数I・数A, 数II, } から1 数II・数B, 工, 簿, 情報 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔4教科5科目又は5教科5科目〕	その他	小論文	
医学部 〔3.8〕 160人 前期 100 後期 15 AO 35 推薦 10	医学科 100人 前期 65 AO 35		前期 2月25日 と26日	国 地歴 公民 教 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 } 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物I, 化I, 生Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	理 教 外 その他	物I・物II, 化I・化II, 生I・生II から2 数I・数II・数III・数A・数B・数C 英II・リーディング・ライティング ※数Bは「数列, ベクトル」 数Cは「行列とその応用, 式と曲線」	約3.0倍
			看護学科 60人 前期 35 後期 15 推薦 10	前期 2月25日	国 地歴 公民 教 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 } 数I・数A, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕 ※「理総A」と「理総B」の組み合わせ不可	その他	小論文
			後期 3月12日	理 外		その他	面接	約7.0倍

※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の入試方法等	
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書		配 合 点 計
センター試験	100	(50)	50×2	50×2	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査				100			100				200	
計	100	(50)	100	200	100		100				650	
センター試験	100	(50)	50×2	50×2	100						450	追加合格
個別学力検査									150		150	
計	100	(50)	100	100	100				150		600	
センター試験	100	100×2	100×2	(100)	200						800	AO入試 推薦 帰国子女 社会人 私費外国人 追加合格
個別学力検査			[200]		<200>						200	
計	100	100×2	[400]	(100)	<400>						1000	
センター試験	100	100×2	(100)		100						500	追加合格
個別学力検査							200				200	
計	100	100×2	(100)		100		200				700	
センター試験	100	(50)	50×2	50×2	100						450	AO入試 追加合格
個別学力検査			100	100×2	100				200		600	
計	100	(50)	200	300	200				200		1050	
センター試験	100	(50)	(100)	50×2	100						450	推薦 社会人 追加合格
個別学力検査							100				100	
計	100	(50)	(100)	100	100		100				550	
センター試験	100	(50)	(100)	50×2	100						450	追加合格
個別学力検査									100		100	
計	100	(50)	(100)	100	100				100		550	

◎36～38 ページの「各欄の注意事項」も確認してください。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成25年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
工学部 [4.6] 370人 前期 238 後期 66 推薦 66	機械・エネルギー システム工学科 80人 前期 53 後期 15 推薦 12	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物I 化I 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理	数I・数II・数III・数A・数B・数C 物I・物II ※数Bは「数列, ベクトル」 数Cは「行列とその応用, 式と曲線」	
	電気電子工 学科 80人 前期 52 後期 14 推薦 14	後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物I 化I 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	そ 他	面接	
	知能情報 システム工学科 70人 前期 44 後期 11 推薦 15	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物I 化I 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理	数I・数II・数III・数A・数B・数C 物I・物II, 化I・化IIから1 ※数Bは「数列, ベクトル」 数Cは「行列とその応用, 式と曲線」	
	応用化学科 60人 前期 38 後期 10 推薦 12 福祉環境工 学科 建築 50人 対ト 30人 計 80人 前期 51 建築 35 対ト 16 後期 16 建築 10 対ト 6 推薦 13 建築 5 対ト 8	後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物I 化I 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	そ 他	面接	

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等											その他の 入試方法等	
試験の区分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	家 庭	小論文	実 技	面 接	調査書		配 点 合 計
センター試験	150	(75)	50×2	50×2	200						625	推薦 帰国子女 私費外国人
個別学力検査			200	200							400	
計	150	(75)	300	300	200						1025	
												追加合格
センター試験	125	(75)	150×2	100×2	200						900	
個別学力検査									200		200	
計	125	(75)	300	200	200				200		1100	
センター試験	150	(75)	50×2	50×2	200						625	推薦 帰国子女 私費外国人
個別学力検査			200	200							400	
計	150	(75)	300	300	200						1025	
												追加合格
センター試験	125	(75)	150×2	100×2	200						900	
個別学力検査									200		200	
計	125	(75)	300	200	200				200		1100	

◎各欄の注意事項

【学部・学科等名及び入学定員等】欄

- (1) 教育福祉科学部及び工学部において、前期日程の定員には、特別入試（若干名）を含みます。
- (2) 経済学部及び医学部看護学科において、後期日程の定員には、特別入試（若干名）を含みます。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- (1) 「英語」にはリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません（リスニングテストを免除された者は除く）。
「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、24～35ページの表に記載している大学入試センター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。
- (2) 「工業数理基礎」、**「簿記・会計」**及び**「情報関係基礎」**を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

【個別学力検査】欄

教育福祉科学部

- (1) 前期日程で、学校教育課程教科教育コースを志望する者は、教科等の組合せから1つを選択して受験してください。選抜は組合せごとに行います。
- (2) 前期日程で、国語の出題範囲は（国語総合）に（国語表現Ⅰ，現代文，古典）を加えたものです。
- (3) 前期日程で、数学Bの出題範囲は、（数列，ベクトル）です。
- (4) 前期日程で、小論文は、現代社会が抱えるさまざまな課題について、基礎的理解力，論理的・科学的思考力や文章表現力などを問います。
 - ・後期日程で、面接は、複数の面接委員により行い、当該コース・分野等への関心，意欲，理解力，表現力などを評価します。
 - ・実技検査の内容は、39～41ページのとおりです。

経済学部

- (1) 前期日程で、数学Bの出題範囲は、（数列，ベクトル）です。
- (2) 後期日程で、小論文は、高等学校の段階における総合的な学力到達度を検査する大学入試センター試験を補うものとして、次の資質をみようとするものであり、広く社会科学的素材に基づく出題を行います。ただし、専門的知識・用語は必要としません。
 - (a) 理解力（あるいは大意把握力）
 - (b) 論理的思考力
 - (c) 表現力

医学部

- (1) 医学科において、理科の科目は、試験開始後に2科目を選択してください。
- (2) 医学科において、理科の出題範囲は以下のとおりです。
 - ア) 物理は、物理Ⅰと物理Ⅱの全ての項目を出題範囲とします。
 - イ) 化学は、化学Ⅰと化学Ⅱの全ての項目を出題範囲とします。
 - ウ) 生物は、生物Ⅰと生物Ⅱの全ての項目を出題範囲とします。

- (3) 医学科において、数学Bの出題範囲は(数列, ベクトル), 数学Cの出題範囲は(行列とその応用, 式と曲線)とします。
- (4) 看護学科において、後期日程の面接は、看護学を学ぶための適性, コミュニケーション能力, 学習意欲・倫理観等を総合的に評価します。

工学部

- (1) 前期日程で、第1志望の学科に必要な個別学力検査受験科目(理科)を受験していない場合は、第1～第3志望とも判定の対象になりません。
- (2) 前期日程で、第2志望以下の個別学力検査受験科目(理科)は、〔物理Ⅰ・物理Ⅱ〕〔化学Ⅰ・化学Ⅱ〕のいずれでもかまいません。
- (3) 前期日程で、数学Bの出題範囲は(数列, ベクトル), 数学Cの出題範囲は(行列とその応用, 式と曲線)とします。
- (4) 前期日程で、物理Ⅱの出題範囲から除くのは、(原子・電子と物質の性質, 原子の構造, 原子核と素粒子)です。
- (5) 前期日程で、化学の出題範囲は、化学Ⅰ及び化学Ⅱをあわせた範囲から出題します。ただし、化学Ⅱの「生活と物質」, 「生命と物質」の内容を主として含む出題の場合は、背景を説明した上で総合問題として出題する, 選択問題にするなどの配慮を行います。
- (6) 後期日程で、面接では志望学科やそれに関わる分野への関心, 意欲, 積極性, 理解力, 自己表現力をみます。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

教育福祉科学部

- (1) 大学入試センター試験の()で示した配点の取り扱いは次のとおりです。
 - ア) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合は、地理歴史及び公民で本学が指定する科目を1科目としている場合は、受験した科目のうち、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。
 - イ) 理科の科目において、複数科目受験した場合は、理科で本学が指定する科目を1科目としている場合は、受験した科目のうち、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。
 - ウ) 受験科目を地理歴史及び公民から2科目と理科から1科目又は理科から2科目と地理歴史及び公民から1科目としている場合は、それぞれの第1解答科目の得点にそれぞれの第2解答科目のうちの高得点の1科目を加えた合計3科目の得点を合否判定に使用します。
 - エ) 複数の教科から選択できる場合は、受験している教科(地理歴史及び公民並びに理科は、上記ア)イ)を使用)のうち最も高得点のものを合否判定に使用します。
- (2) 前期日程の個別学力検査の()で示した配点は、複数の教科・科目を受験できますが、最も高得点のものを合否判定に使用します。

経済学部

- (1) 大学入試センター試験の()で示した配点の取り扱いは次のとおりです。
 - ア) 前期日程の理科の科目において、複数科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。
 - イ) 後期日程の数学の科目において、複数科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。

(2) 個別学力検査及び計の〔 〕と< >で示した配点は、個別学力検査で選択した科目の得点を合否判定に使用します。

医学部

・大学入試センター試験の()で示した配点の取り扱いは次のとおりです。

ア) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさない**こととなりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

イ) 看護学科の数学の科目において、複数科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。

工学部

・大学入試センター試験の()で示した配点の取り扱いは次のとおりです。

地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

【その他】

(1) 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

(2) 個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

⑤ 一般入試における実技検査の内容（教育福祉科学部）

(1) 前期日程実技検査の内容

（表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該コース・分野に関わる資質を評価します。）

課程等	検査項目及び検査の内容	検査当日持参するもの																
学 校 教 科 教 育 コ ー ス 程 序	<p>◎全項目必須です</p> <p><u>1. コールユーブンゲン</u> コールユーブンゲン第1巻, No.39～71 (原書番号)の中から1曲を検査当日指定します。固定ド唱法, 移動ド唱法のいずれかで歌ってください。</p> <p><u>2. 声楽</u> 次の歌曲の中から1曲を選び, 暗譜, 原語で歌ってください。 (歌う曲の作曲者・曲名は所定の曲目調査票に記入の上, 入学志願書とともに提出してください。なお, 移調を希望する場合は, 曲目調査票の当該欄に○印をつけ, 伴奏譜を入学志願書とともに提出してください。伴奏者は本学が用意します。)</p> <table border="0" data-bbox="316 996 1117 1176"> <tr> <td>* Nina</td> <td>ペルゴレージ</td> <td>作曲</td> <td>ホ短調</td> </tr> <tr> <td>* Star vicino</td> <td>ローザ</td> <td>作曲</td> <td>イ長調</td> </tr> <tr> <td>* Sebben, crudele</td> <td>カルダーラ</td> <td>作曲</td> <td>ニ短調</td> </tr> <tr> <td>* この道</td> <td>山田 耕筈</td> <td>作曲</td> <td>ホ長調</td> </tr> </table> <p>(3番まで歌ってください。)</p> <p><u>3. 器楽 (ピアノ)</u> ハイドン, モーツァルト, ベートーヴェンのピアノソナタの中から1曲を選び, 第1楽章又は終楽章 (ただし, 緩徐な楽章は除きます。)を暗譜, 繰り返しなしで演奏してください。 (演奏する曲の作曲者・曲名・楽章等は, 所定の曲目調査票に記入の上, 入学志願書とともに提出してください。)</p>	* Nina	ペルゴレージ	作曲	ホ短調	* Star vicino	ローザ	作曲	イ長調	* Sebben, crudele	カルダーラ	作曲	ニ短調	* この道	山田 耕筈	作曲	ホ長調	
* Nina	ペルゴレージ	作曲	ホ短調															
* Star vicino	ローザ	作曲	イ長調															
* Sebben, crudele	カルダーラ	作曲	ニ短調															
* この道	山田 耕筈	作曲	ホ長調															
	<p>美術</p> <p>B3画用紙に鉛筆によるデッサンを行います。モチーフは当日指定します。</p>	<p>鉛筆 消しゴム 練りゴム</p>																
	<p>保健体育</p> <p>1. 基礎的運動能力 (短距離走, 立ち幅とび, 反復横とび, 3分間シャトル走) 2. 身体及び用具操作の基礎的能力</p>	<p>運動服 屋内用スポーツシューズ 屋外用スポーツシューズ (スパイク不可)</p>																

課程等	検査項目及び検査の内容	検査当日持参するもの
情報 報 社 会 文 化 課 程	次のAからCの中から1項目を選択してください。	
	A. 身体表現：与えられた課題に基づいて、5分程度の身体による作品を創作し、演技してください。創作時間は昼食を挟んで約3時間です。	表現に適した服装。 床面の都合でトウシューズは使用できません。
	B. 美術表現：鉛筆により木炭紙大の用紙に描写を行います。検査時間は昼休みを挟んで10時から16時までの約5時間です。	鉛筆描写に必要な用具 (カルトンと用紙は本学が準備します。)
総合 表現 コース	<p>C. 音楽表現：次の2つの検査を行います。</p> <p><u>1. コールユーブンゲン</u> コールユーブンゲン第1巻, No.45~71 (原書番号) の中から1曲を検査当日指定します。固定ド唱法, 移動ド唱法のいずれかで歌ってください。</p> <p><u>2. 音楽による自己表現</u> 演奏の場合は, 任意の楽曲を1曲選び, 演奏してください。演奏手段は, 声楽, ピアノのいずれかです。作曲の場合は, 自作品を1曲以上提出し, 試験日当日にその作品について説明してください。</p> <p>※ 演奏の場合は, 本学所定の曲目調査票に演奏曲目等を記入し, 入学志願書とともに提出してください。</p> <p>※ 声楽の場合は, 志願者氏名を明記したピアノ伴奏譜を, 入学志願書, 曲目調査票とともに提出してください (伴奏者は本学が用意します)。</p> <p>※ 作曲の場合は, 自作品を入学志願書とともに提出してください。作品の提出は原則として楽譜 (コピー楽譜可) によるものとしませんが, 楽譜ではなく録音・映像等によって記録された作品である場合 (たとえばコンピュータ音楽など) は, CDやDVDなどのメディアを提出してください。</p> <p>なお, CDは一般の日本製CDプレイヤーで再生可能な録音形式, DVDは一般の日本製プレイヤーで再生可能なビデオ形式にしてください (DVDの場合, 必ずファイナライズ処理を行ってください)。</p>	
人間福祉科学課程	与えられた運動課題を遂行する基礎的能力の検査を行います。	運動服 屋内用スポーツシューズ

【注1】 実技検査で昼食が必要な場合には, 検査時間中に昼食時間帯を設けますので, 検査場に昼食を持参してください。

【注2】 実技検査等の内容に関する問い合わせについては, 出題に抵触する場合がありますので, この内容以外のことはお答えできません。

(2) 後期日程実技検査の内容

(表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該コース・分野に関わる資質を評価します。)

課程等	検査の内容	検査当日持参するもの
情報 総合 社会 表現 文化 コース 文 化 課 程	<p>検査室内の約5m×5m、天井までの高さ約3mの空間で、自由な方法やテーマでの自己表現を行います。</p> <p>1) 検査方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> 検査は検査室に1人ずつ入室して行います。 入室してから表現を完了し、退室するまでの検査時間は8分以内です。 自分や他人に対して危険なことや器物を損壊するようなこと、その他きわめて非常識と思われることは禁止します。 あらかじめ制作、創作した作品を発表してもかまいません。 表現に使用する用具や材料は各自で準備し、持参してください。 <p>2) 検査室について</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流100V、15Aの電源を使用することができます。 検査室にはピアノがあり、それを使用することができます。 検査室には土足で入室できませんが、自分の表現に適した上履きを用いてもかまいません。 検査室にはCDプレイヤーがあり、それを使用することができます。 <p>3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 検査室には、机・椅子がありますが、これらを自己表現の素材として使用することはできません。 	<p>ピアノ以外の表現に使用する用具や素材は各自持参してください。</p>
人間 福祉 科学 課程	<p>(スポーツ・健康分野) 心理健康福祉コース</p> <p>与えられた運動課題を遂行する基礎的能力の検査を行います。</p>	<p>運動服 屋内用スポーツシューズ</p>

【注1】 実技検査の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のことはお答えできません。

【注2】 総合表現コースの実技検査内容は、前期日程と後期日程とは異なっていますので、十分注意してください。

(2) 推薦入試

〔教育福祉科学部〕

〔推薦入試〕

実施学部及び募集人員等	教育福祉科学部			
課 程	コ ー ス	選修・分野	募集人員	推薦人員
学 校 教 育 課 程	特別支援教育コース		5	各高等学校等から2名以内
	教科教育コース	保健体育選修	2	各高等学校等から2名以内
情 報 社 会 文 化 課 程	社会文化コース		5	各高等学校等から2名以内
	情報教育コース		5	各高等学校等から2名以内
人 間 福 祉 科 学 課 程	心理健康福祉コース	心 理 分 野	5	各高等学校等から1名
<p>〔出願資格〕</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望するコース，選修，分野への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査書の学習成績概評がA段階に属する者 2. 人物的に優れ，かつ，志望するコース，選修，分野の学習に熱意を有する者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 				
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，志望理由書，推薦書，スポーツ等に関する調査書（保健体育選修のみ）及び小論文，面接により選考します。			
出 願 期 間	平成25年11月1日（金）～8日（金）（土日及び祝日を除く）			
選 抜 期 日	平成25年12月4日（水）			
合 格 者 発 表 日	平成25年12月17日（火）			

〔教育福祉科学部〕

〔推薦入試〕

実施学部及び募集人員等	教育福祉科学部			
課程	コース	選修・分野	募集人員	推薦人員
学校教育課程	教科教育コース	音楽選修	2	各高等学校等から2名以内
		美術選修	2	各高等学校等から2名以内
		家庭科選修	3	各高等学校等から2名以内
情報社会文化課程	総合表現コース		5	制限なし
人間福祉科学課程	心理健康福祉コース	スポーツ・健康分野	3	各高等学校等から2名以内
	生活環境福祉コース	環境分野	2	各高等学校等から2名以内
<p>〔出願資格〕</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望するコース，選修，分野への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学業成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，かつ，志望するコース，選修，分野の学習に熱意を有する者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 				
選抜方法等	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，志望理由書，推薦書及び下記検査により選考します。</p> <p>(教科教育コース，音楽選修) 小論文，面接，実技</p> <p>(教科教育コース，美術選修) 作品審査，面接，実技</p> <p>(教科教育コース，家庭科選修) 小論文，面接</p> <p>(総合表現コース)</p> <p>(心理健康福祉コース，スポーツ・健康分野)</p> <p>(生活環境福祉コース，環境分野) 小論文，面接</p> <p style="text-align: right;">} 小論文，面接，実技</p>			
出願期間	平成25年11月1日(金)～8日(金)(土日及び祝日を除く)			
選抜期日	平成25年12月4日(水)			
合格者発表日	平成25年12月17日(火)			

〔教育福祉科学部〕

〔推薦入試〕

実施学部及び募集人員等	教育福祉科学部			
課 程	コ ー ス	選 修	募集人員【注】	推薦人員
学 校 教 育 課 程	教科教育コース	技術選修	普通推薦	2
			工業推薦	2
<p>〔出願資格〕</p> <p>（普通推薦）</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望する選修への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学業成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，かつ，志望する選修の学習に熱意を有する者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>（工業推薦）</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在学教育施設等の工業に関する学科・課程又は総合学科を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望する選修への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，総合学科を卒業見込みの者については，工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。それ以外の場合は，普通推薦として選抜します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学業成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，かつ，志望する選修の学習に熱意を有する者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 				
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，志望理由書，推薦書及び小論文，面接により選考します。			
出 願 期 間	平成25年11月1日（金）～8日（金）（土日及び祝日を除く）			
選 抜 期 日	平成25年12月4日（水）			
合 格 者 発 表 日	平成25年12月17日（火）			

【注】 合格者がそれぞれの募集人員に達しない場合には，合計4名を募集人員として選抜します。

〔教育福祉科学部〕

〔推薦入試〕

実施学部及び募集人員等	教育福祉科学部			
課程	コース	募集人員		推薦人員
人間福祉科学課程	社会福祉コース	普通推薦	5	各高等学校等から2名以内
		福祉推薦	1	
<p>〔出願資格〕</p> <p>（普通推薦） 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望するコースへの専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査書の学習成績概評がA段階に属する者 2. 人物的に優れ，かつ，社会福祉に強い関心と実践的な意欲を有する者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>（福祉推薦） 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の福祉に関する学科・課程又は，その他の学科を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望するコースへの専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査書の学習成績概評がA段階に属する者 2. 人物的に優れ，かつ，社会福祉に強い関心と実践的な意欲を有する者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>注：福祉に関する学科・課程又は，その他の学科を卒業見込みの者は，次のいずれかに該当する者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 文部科学省が指定する「福祉系高等学校等」，「特例高等学校等」において「教科福祉」に含まれる科目を全て履修して卒業する見込みの者（＝介護福祉士受験資格を取得する見込みの者） ② ①以外の高等学校で福祉関係のコースや課程，系列において，当該高等学校が設置する科目を履修して「介護職員基礎研修」，「介護職員初任者研修」を修了して卒業する見込みの者，もしくは「訪問介護員1級」あるいは「訪問介護員2級」の資格を取得し卒業する見込みの者 				
選抜方法等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，志望理由書，推薦書及び小論文，面接により選考します。			
出願期間	平成25年11月1日（金）～8日（金）（土日及び祝日を除く）			
選抜期日	平成25年12月4日（水）			
合格者発表日	平成25年12月17日（火）			

〔教育福祉科学部〕

〔推薦入試〕

実施学部及び募集人員等	教育福祉科学部			
課 程	コ ー ス	分 野	募集人員	推薦人員
人間福祉科学課程	生活環境福祉コース	生活分野	2	制限なし
<p>〔出願資格〕</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成 26 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成 25 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望する分野への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学業成績が優秀な者 2. 高等学校等において，「家庭基礎」「家庭総合」「生活技術」などの普通教育に関する科目を除く，「消費生活」「発達と保育」「家庭看護・福祉」「リビングデザイン」「服飾文化」「フードデザイン」などの家庭に関する専門科目を 12 単位以上修得した者 3. 人物的に優れ，かつ，志望する分野の学習に熱意を有する者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 				
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，志望理由書，推薦書及び小論文，面接により選考します。			
出 願 期 間	平成 25 年 11 月 1 日（金）～ 8 日（金）（土日及び祝日を除く）			
選 抜 期 日	平成 25 年 12 月 4 日（水）			
合 格 者 発 表 日	平成 25 年 12 月 17 日（火）			

教育福祉科学部実技検査等の内容（推薦入試）

（表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該コース・選修・分野に関わる資質を評価します。）

課程等		検査項目及び検査の内容												
学校 教育 課程	音楽 実技 選修	<p>1. 基礎検査（全員必須） コールユーブンゲン第1巻，No.39～85（原書番号）の中から1曲を検査当日指定します。 固定ド唱法，移動ド唱法のいずれかで歌ってください。</p> <p>2. 音楽表現の審査 ピアノ，声楽，作曲のいずれかを選択してください。</p> <p>○ピアノ ハイドン，モーツァルト，ベートーヴェンのピアノソナタの中から1曲を選び，第1楽章又は終楽章（ただし，緩徐な楽章は除きます。）を暗譜，繰り返しなしで演奏してください。 （演奏する曲の作曲者・曲名・楽章等は，所定の曲目調査票に記入の上，入学志願書とともに提出してください。）</p> <p>○声楽 次の歌曲の中から1曲を選び，暗譜，原語で歌ってください。 （歌う曲の作曲者・曲名は所定の曲目調査票に記入の上，入学志願書とともに提出してください。なお，移調を希望する場合は，曲目調査票の当該欄に○印をつけ，伴奏譜を入学志願書とともに提出してください。伴奏者は本学が用意します。）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">* Sento nel core</td> <td style="text-align: center;">A. スカルラッティ 作曲</td> <td style="text-align: center;">へ短調</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">* Intorno all'idol mio</td> <td style="text-align: center;">チェスティ 作曲</td> <td style="text-align: center;">ホ短調</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">* Dormi, bella</td> <td style="text-align: center;">バツサーニ 作曲</td> <td style="text-align: center;">変イ長調</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">* かやの木山の</td> <td style="text-align: center;">山田 耕筈 作曲</td> <td style="text-align: center;">ニ長調</td> </tr> </table> <p>○作曲 (1) 出願時に自作品の楽譜（形式，編成は自由。楽譜はコピーでも可。）を1曲以上，入学志願書とともに提出してください。 （提出する作品の曲名を所定の曲目調査票に記入の上，入学志願書とともに提出してください。） (2) 検査当日，提示されたモチーフに基づくピアノ曲（形式，長さは自由）の作曲をしてください（所要時間 90 分）。</p>	* Sento nel core	A. スカルラッティ 作曲	へ短調	* Intorno all'idol mio	チェスティ 作曲	ホ短調	* Dormi, bella	バツサーニ 作曲	変イ長調	* かやの木山の	山田 耕筈 作曲	ニ長調
	* Sento nel core	A. スカルラッティ 作曲	へ短調											
* Intorno all'idol mio	チェスティ 作曲	ホ短調												
* Dormi, bella	バツサーニ 作曲	変イ長調												
* かやの木山の	山田 耕筈 作曲	ニ長調												
美術 実技 選修 等	<p>1. 簡単な実技検査： B3 画用紙に鉛筆によるデッサンを行います。 モチーフは当日指定します。 ※鉛筆，消しゴムと練りゴムを持参してください。</p> <p>2. 本人持参の作品審査（作品に関する簡単な質疑応答があります。） ・持参（審査）する作品数は2点。その他参考資料として，審査対象以外の作品の写真を持参してもかまいません。 ・提出作品のジャンル，形式は問いません。1点の作品の大きさは，高さ 180 cm×幅 150 cm×奥行 150 cmの範囲とします。（例：デッサン，水彩画，油彩画，版画，彫刻，立体造形，デザイン，陶芸，木工，ビデオ，写真，インスタレーション等） ※本学所定の作品証明書を添付してください。 ※提出作品の運搬を配送業者に依頼する場合は，あらかじめ入試課に連絡してください。</p>													

課程等		検査項目及び検査の内容	検査当日持参するもの
情報 社会 文化 課程	総合 表現 実技 コース	次のAからCの中から1項目を選択してください。	
		<p>A. 身体表現：与えられた課題に基づいて、5分程度の身体による作品を創作し、演技してください。</p> <p>B. 美術表現：本人持参の作品審査 (作品に関する簡単な質疑応答があります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持参(審査)する作品は2点。その他参考資料として、審査対象以外の作品の写真を持参してもかまいません。 ・提出作品の大きさ、ジャンル、形式は問いません。 (例：デッサン、陶芸、木工、ビデオ、写真、インスタレーション等) <p>※本学所定の作品証明書を添付してください。</p> <p>C. 音楽表現：次の3つの検査を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新曲視唱 出題された旋律を、固定ド唱法、移動ド唱法のいずれかで歌ってください。 2. 即興演奏 与えられたテーマによって1分間程度の即興演奏をしてください。演奏手段は任意に選んでかまいません。 3. 音楽による自己表現 演奏の場合は、任意の楽曲を1曲選び、演奏してください。演奏手段は、声楽、ピアノのいずれかです。作曲の場合は、出題時に自作品(形式、編成は自由)を1曲以上提出し、試験当日にその作品について説明してください。 <p>※演奏の場合は、本学所定の曲目調査票に演奏曲目等を記入し、入学志願書とともに提出してください。</p> <p>※声楽の場合は、志願者氏名を明記したピアノ伴奏譜を、入学志願書、曲目調査票とともに提出してください(伴奏者は本学が用意します)。</p> <p>※作曲の場合は、自作品を入学志願書とともに提出してください。作品の提出は原則として楽譜(コピー楽譜可)によるものとしませんが、楽譜ではなく録音・映像等によって記録された作品である場合(たとえばコンピュータ音楽など)は、CDやDVDなどのメディアを提出してください。なお、CDは一般の日本製CDプレイヤーで再生可能な録音形式、DVDは一般の日本製プレイヤーで再生可能なビデオ形式にしてください(DVDの場合、必ずファイナライズ処理を行ってください)。提出物には、志願者氏名を明記してください。</p>	<p>表現に適した服装。 床面の都合でトウシューズは使用できません。</p> <p>ピアノ以外の楽器を使用する場合は各自持参してください。</p>
人間福祉科学課程	心理健康福祉コース (スポーツ・健康分野)	実技 与えられた運動課題を遂行する基礎的能力を検査します。	運動服 屋内用スポーツシューズ

【注1】実技検査で、昼食が必要な場合には検査時間中に昼食時間帯を設けますので、検査場に昼食を持参してください。

【注2】実技検査等の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のことはお答えできません。

〔経済学部〕

〔推薦入試〕

実施学部・学科 及び募集人員等	経 済 学 部	
学 科	募集人員	推薦人員
経 済 学 科	(普通推薦) 50名	各高等学校等から4名以内
経 営 シ ス テ ム 学 科 地 域 シ ス テ ム 学 科	(商業推薦) 30名	制限なし
<p>〔出願資格〕</p> <p>(普通推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の普通科又はその他の学科で本学が普通科に準ずると認める学科・課程（いわゆる職業教育を主とする学科以外の学科）を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査書の学習成績概評がA段階に属する者 2. 校内外を問わず自主的勉学ないし活動において特に優れた成果をあげている者 3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>(商業推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の商業に関する学科・課程又はその他の学科を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，商業に関する学科・課程以外を卒業見込みの者については，商業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の最終年次における成績が上位10%以内の者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 		
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，志望理由書，小論文及び面接により選考します。	
出 願 期 間	平成25年11月1日（金）～8日（金）（土日及び祝日を除く）	
選 抜 期 日	平成25年12月4日（水）	
合格者発表日	平成25年12月17日（火）	

〔医学部〕

〔推薦入試〕

実施学部・学科 及び募集人員等	医 学 部	
学 科	募 集 人 員	推 薦 人 員
看 護 学 科	10 名	各高等学校等から 2 名以内
<p>〔出願資格〕</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成 26 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成 25 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次の要件を満たす者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等における学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評が A 段階 に属し，高等学校長等が責任を持って推薦できる者 ※④に該当する者については，調査書に④と表示してください。 2. 看護職者あるいは看護学研究者として活躍しようとする，はっきりした目的意識を持ち，他者への思いやりと共感，生涯学習への意志と体力を持った者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 		
選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し，本学が実施する小論文及び面接により，合格者を決定します。高等学校長等の推薦書，調査書及び自己推薦書は，参考資料として用います。</p>	
出 願 期 間	平成 25 年 11 月 1 日（金）～ 8 日（金）（土日及び祝日を除く）	
選 抜 期 日	平成 25 年 12 月 4 日（水）	
合 格 者 発 表 日	平成 25 年 12 月 17 日（火）	

〔工学部〕

〔推薦入試〕

実施学部・学科 及び募集人員等	工 学 部	
学 科	募 集 人 員	推 薦 人 員
機械・エネルギー システム工学科	(A推薦) 9名	各高等学校等からA推薦, B推薦合わせて4名以内
	(B推薦) 3名	
<p>〔出願資格〕</p> <p>(A推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評がA段階に属する者 2. 高等学校等において「物理Ⅱ」を履修している者 3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>(B推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の機械又は電気に関する学科・課程又は総合学科を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，総合学科卒業見込みの者については，工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評がA段階に属する者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 		
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，基礎能力試験及び面接により選考します。	
出 願 期 間	平成25年11月1日（金）～8日（金）（土日及び祝日を除く）	
選 抜 期 日	平成25年12月4日（水）	
合 格 者 発 表 日	平成25年12月17日（火）	

〔工学部〕

〔推薦入試〕

実施学部・学科 及び募集人員等	工 学 部	
学 科	募 集 人 員	推 薦 人 員
電気電子工学科	(A推薦) 11名	各高等学校等からA推薦, B推薦合わせて3名以内
	(B推薦) 3名	

〔出願資格〕

(A 推薦)

高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。

1. 高等学校等の学習成績が優秀な者，又は特に物理が優秀な者
2. 高等学校等において「物理Ⅱ」を履修している者
3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
4. 合格した場合は，入学することを確約できる者

(B 推薦)

高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の**電気又は電子**に関する学科・課程又は**総合学科**を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。

ただし，**総合学科**卒業見込みの者については，**工業に関する教科・科目を20単位**以上修得（見込みを含む）していなければなりません。

1. 高等学校等の学習成績が優秀な者，又は特に物理が優秀な者
2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
3. 合格した場合は，入学することを確約できる者

選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，基礎能力試験及び面接により選考します。
出 願 期 間	平成 25 年 11 月 1 日（金）～ 8 日（金）（土日及び祝日を除く）
選 抜 期 日	平成 25 年 12 月 4 日（水）
合 格 者 発 表 日	平成 25 年 12 月 17 日（火）

〔工学部〕

〔推薦入試〕

実施学部・学科 及び募集人員等	工 学 部	
学 科	募 集 人 員	推 薦 人 員
知能情報システム工学科	(A推薦) 10名	各高等学校等からA推薦, B推薦合わせて3名以内
	(B推薦) 5名	
<p>〔出願資格〕</p> <p>(A 推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 高等学校等において「物理Ⅱ」又は「化学Ⅱ」を履修している者 3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>(B 推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の情報又は計算機に関する工業系の学科・課程又は総合学科を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，総合学科卒業見込みの者については，情報又は計算機に関する科目8単位以上を含む工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 		
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，基礎能力試験及び面接により選考します。	
出 願 期 間	平成25年11月1日（金）～8日（金）（土日及び祝日を除く）	
選 抜 期 日	平成25年12月4日（水）	
合 格 者 発 表 日	平成25年12月17日（火）	

〔工学部〕

〔推薦入試〕

実施学部・学科 及び募集人員等	工 学 部	
学 科	募 集 人 員	推 薦 人 員
応 用 化 学 科	(A推薦) 10名	制限なし
	(B推薦) 2名	
<p>〔出願資格〕</p> <p>(A推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成 26 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成 25 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 2. 高等学校等において「物理Ⅱ」又は「化学Ⅱ」を履修している者 3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>(B推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の 化学 に関する学科・課程又は 総合学科 を平成26年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，総合学科 卒業見込みの者については，工業に関する教科・科目を20単位以上 修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 		
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，基礎能力試験及び面接により選考します。	
出 願 期 間	平成 25 年 11 月 1 日（金）～ 8 日（金）（土日及び祝日を除く）	
選 抜 期 日	平成 25 年 12 月 4 日（水）	
合 格 者 発 表 日	平成 25 年 12 月 17 日（火）	

〔工学部〕

〔推薦入試〕

実施学部・学科 及び募集人員等	工 学 部		
学 科	コース	募集人員	推 薦 人 員
福祉環境工学科	建築コース	(B 推薦) 5 名	制限なし
<p>〔出願資格〕</p> <p>(B 推薦)</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の建築系又は土木系の学科・課程又は総合学科を平成 26 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成 25 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科・コースへの専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，総合学科卒業見込みの者については，建築又は土木に関する教科・科目を 20 単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評がA段階に属する者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 			
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，基礎能力試験及び面接により選考します。		
出 願 期 間	平成 25 年 11 月 1 日（金）～ 8 日（金）（土日及び祝日を除く）		
選 抜 期 日	平成 25 年 12 月 4 日（水）		
合 格 者 発 表 日	平成 25 年 12 月 17 日（火）		

【注】工学部福祉環境工学科には建築コース（入学定員 50 名）と メカトロニクスコース（入学定員 30 名）の 2 コースがあります。推薦入試の合格者は，入学後は志願時に希望したコースに所属して学びます。B 推薦において，出身学校の学科・課程，履修科目と希望コースが整合しているかどうかは疑問の場合は，事前に入試課へ申し出てください。

〔工学部〕

〔推薦入試〕

実施学部・学科 及び募集人員等	工 学 部		
学 科	コース	募集人員	推 薦 人 員
福祉環境工学科	メカトロニクスコース	(A 推薦) 6 名	制限なし
		(B 推薦) 2 名	

〔出願資格〕

〔A 推薦〕

高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成 26 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成 25 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科・コースへの専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。

1. 高等学校等の学習成績が優秀な者
2. 高等学校等において「物理Ⅱ」又は「化学Ⅱ」を履修している者
3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
4. 合格した場合は，入学することを確約できる者

〔B 推薦〕

高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の**機械系，電気系**の学科・課程又は**総合学科**を平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科・コースへの専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。

ただし，**総合学科**卒業見込みの者については，**機械，電気に関する教科・科目を20単位**以上修得（見込みを含む）していなければなりません。

1. 高等学校等の学習成績が優秀な者
2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
3. 合格した場合は，入学することを確約できる者

選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，基礎能力試験及び面接により選考します。
出 願 期 間	平成 25 年 11 月 1 日（金）～ 8 日（金）（土日及び祝日を除く）
選 抜 期 日	平成 25 年 12 月 4 日（水）
合 格 者 発 表 日	平成 25 年 12 月 17 日（火）

【注】工学部福祉環境工学科には建築コース（入学定員 50 名）と メカトロニクスコース（入学定員 30 名）の 2 コースがあります。推薦入試の合格者は，入学後は志願時に希望したコースに所属して学びます。B 推薦において，出身学校の学科・課程，履修科目と希望コースが整合しているかどうか疑問の場合は，事前に入試課へ申し出てください。

(3) アドミッション・オフィス入試(AO入試)

〔経済学部〕

〔AO入試〕

<p>実施学部 学 科 名</p>	<p>経済学部</p> <p>経済学科 経営システム学科 地域システム学科</p>
<p>募集人員</p>	<p>15名（英語資格 5名，簿記資格 10名）</p>
<p>〔出願資格〕</p> <p>次の（１）に該当する者で，かつ（２）の要件を満たし，入学試験に合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>（１）高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を卒業した者及び平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，調査書の履修科目全体の評定平均値が3.5以上の者</p> <p>（２）次のいずれかの資格を有する者</p> <p>（英語資格） 実用英語技能検定（英検）2級以上又は TOEIC スコア 480 点以上又は GTEC for STUDENTS スコア 580 点以上</p> <p>（簿記資格） 日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）2級以上</p>	
<p>選 抜 方 法 等</p>	<p>大学入試センター試験と個別学力検査を免除し，小論文，面接及び提出書類を総合して選抜します。選抜方法は2段階選抜とします。</p> <p>（１）第1次選考 自己推薦書及び調査書により選抜します。 自己推薦書及び調査書では，高校での学習活動（高大接続関連事業による学習活動を含む），取得資格に関わる活動状況や今後の目標，本学入学後の勉学意欲等についてみます。 ※第1次選考の合格者数は，英語資格・簿記資格とも募集人員の3倍程度とします。</p> <p>（２）第2次選考 第1次選考の合格者を対象に，小論文及び個人面接により選抜します。 小論文では社会科学的素材に基づく出題を行い，理解力（あるいは大意把握力），論理的思考力，表現力をみます。個人面接では，取得資格に関する能力，積極性，自己表現力をみます。 ※英語資格の個人面接では，英語での質疑応答の時間があります。 ※簿記資格の個人面接では，簿記（日商簿記2級相当の内容）に関する質疑応答の時間があります。</p>
<p>出 願 期 間</p>	<p>平成25年 8月19日（月）～ 8月23日（金）</p>
<p>選 抜 期 日 （第2次選考）</p>	<p>平成25年 9月26日（木）</p>
<p>合格者発表日</p>	<p>平成25年10月15日（火）</p>

実施学部 学 科 名	医学部医学科															
募集人員	35名（一般枠25名，地域枠10名）															
〔出願資格〕 【一般枠】	<p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成24年3月以降に卒業した者及び平成26年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成25年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，大学入試センター試験の実施教科・科目のうち本学が指定した教科・科目を受験し，かつ，次の要件を満たす者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等における学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評がA段階に属する者 ※④に該当する者については，調査書に④と表示してください。 2. 臨床医あるいは医学研究者として活躍しようとする，明確な目的意識を持ち，病める人々への思いやりと共感，生涯学習への意志と体力を持った者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 															
【地域枠】	<p>上記出願資格に加え，次の要件を満たす者です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県内の小学校又は中学校を卒業し，大学卒業後，大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者で，大分県が指定するへき地医療拠点病院等で実施する体験活動（8月中の連続する3日間実施）を受けた者 <p>※ 一般枠と地域枠の併願は認められません。 ※ 平成23年8月又は平成24年8月に本体験活動を受け，「体験活動日誌」及び「体験活動感想文」を提出済の者については，本体験活動を再度受ける必要はありません。 ※ 本体験活動は，地域枠で出願するためにのみ実施するものです。</p>															
選 抜 方 法 等	<p>【第1次選考】</p> <p>一般枠，地域枠ともに，大学入試センター試験の成績により第1次選考（一般枠，地域枠ともに募集人員の約2.5倍）を行い，第2次選考の対象者を決定します。</p> <p>大学入試センター試験指定教科・科目</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>国</td> <td>: 国</td> <td rowspan="4" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">} から1</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>: 世B，日B，地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>: 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>: 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>: 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰから2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>: 英，独，仏，中，韓 から1（5教科7科目）</td> <td></td> </tr> </table> <p>【注】 「地理歴史」及び「公民」の科目において，複数科目受験した場合は，第1解答科目の得点を合否判定に使用します。</p> <p>なお，第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は，出願資格を満たさないこととなりますので，第1解答科目は，必ず本学が指定する科目の中から選択してください。</p> <p>「英語」はリスニングテストを含みます。筆記試験とリスニングテストの双方を受験してください（リスニングテストを免除された者は除く）。「英語」の成績は，筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し，他の外国語と比較できるようにします。なお，入学者選抜の配点にあたっては，32～33ページの表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし，リスニングテストを免除された者については，筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。</p> <p>【第2次選考】</p> <p>一般枠，地域枠ともに，面接（個人面接及び集団面接）を行い，自己推薦書，調査書，特別活動に関する調査書及び大学入試センター試験の成績を総合的に評価し，合格者を決定します。</p> <p>なお，同点者がいる場合は，大学入試センター試験の総得点の高得点者，大学入試センター試験の理科の高得点者の順に優先します。</p>	国	: 国	} から1	地歴	: 世B，日B，地理B	公民	: 倫・政経	数	: 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B	理	: 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰから2		外	: 英，独，仏，中，韓 から1（5教科7科目）	
国	: 国	} から1														
地歴	: 世B，日B，地理B															
公民	: 倫・政経															
数	: 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B															
理	: 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰから2															
外	: 英，独，仏，中，韓 から1（5教科7科目）															
出 願 期 間	<p>平成25年11月1日（金）～11月8日（金）（土日及び祝日を除く）</p> <p>〔へき地医療拠点病院等体験活動の申込期間（地域枠のみ）〕</p> <p>平成25年7月3日（水）～7月9日（火）（土日を除く）</p>															
選 抜 期 日 （第2次選考）	<p>平成26年2月9日（日） 午前の部：9時00分～ 午後の部：13時00分～</p>															
合 格 者 発 表 日	平成26年2月12日（水）															
そ の 他	<p>地域枠で入学した学生全員に，大分県医師修学資金が貸与されます。大学卒業後，大分県知事の指定する医療機関において，貸与を受けた期間の2分の3に相当する期間を医師として勤務した場合，全額返還を免除します。</p>															

(4) 帰国子女入試

実施学部 学科等名	教育福祉科学部	経済学部	工学部	
	情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース (心理分野, スポーツ・健康分野)	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	機械・エネルギー システム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注】	
募集人員	若干名(定員内)	若干名(定員内)	若干名(定員内)	
<p>〔出願資格〕</p> <p>日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により海外に移住し、次のいずれかに該当する者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国の正規の学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育期間を含みませ)を2012年4月1日から2014年3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者で、外国において最終の学年を含め2年以上継続して正規の学校教育を受けているもの ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とはみなしません。 2. 外国及び国内において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を2012年又は2013年に授与された者で、2014年4月1日現在満18歳に達しているもの 3. 外国及び国内において、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2012年又は2013年に授与された者で、2014年4月1日現在満18歳に達しているもの 4. 外国及び国内において、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を2012年又は2013年に授与された者で、2014年4月1日現在満18歳に達しているもの 				
選抜方法等	教育福祉科学部	経済学部	工学部	
	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。ただし、情報社会文化課程総合表現コースの志願者には、面接に代えて実技検査を課します。	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。	大学入試センター試験を免除し、学力検査、面接及び提出書類を総合して選考します。学力検査は下記のとおりです。	
			学科	・機械・エネルギーシステム工学科 ・電気電子工学科
			教科等	・知能情報システム工学科 ・応用化学科 ・福祉環境工学科
			理科	「物理Ⅰ・物理Ⅱ」又は「化学Ⅰ・化学Ⅱ」から1科目
		英語	「リーディング・ライティング」	
		数学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 ※数学Bの出題範囲：数列、ベクトル	
出願期間	2014年 1月20日(月)～24日(金)			
選抜期日	2014年 2月 7日(金)			
合格者発表日	2014年 2月17日(月)			

【注】工学部福祉環境工学科には、建築コースとメカトロニクスコースの2コースがあります。

合格者は、志願時に希望したコースに所属して学びます。

(5) 中国引揚者等子女入試

実施学部 課程等名	教育福祉科学部
	学校教育課程 発達教育コース【注】 〈教育学，教育心理学，幼年教育選修〉 特別支援教育コース 教科教育コース【注】 〈国語，社会，数学，理科，音楽，美術， 保健体育，技術，家庭科，英語選修〉 情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野，スポーツ・健康分野〉 生活環境福祉コース 〈生活分野，環境分野〉
募集人員	若干名（定員内）
<p>〔出願資格〕</p> <p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者，その他これに準ずる者であって，保護者が引揚者であり，日本国へ引揚げ後，原則として9年以下である者のうち，学校教育法第90条の規定により大学の入学資格を有する者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者</p> <p>※ 中国引揚者等子女とは，保護者（父と母，又は父母のいずれか，あるいは祖父母等）が引揚者である者をいいます。また，引揚者とは，終戦前（1945年9月2日以前をいう）から引続き外国に居住していた者（当該者を親として終戦後外国において出生した者を含む）で，終戦後はじめて永住の目的をもって帰国した者をいいます。</p>	
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，小論文，面接及び提出書類を総合して選考します。 ただし，教科教育コースの音楽，美術，保健体育選修及び情報社会文化課程総合表現コースの志願者には，面接に代えて実技検査を課します。
出 願 期 間	2014年 1月20日（月）～24日（金）
選 抜 期 日	2014年 2月 7日（金）
合格者発表日	2014年 2月17日（月）

【注】発達教育コース，教科教育コースの各選修への振り分けは，本人の希望と1年生前学期における成績をもとに，1年生後学期から各選修への所属を決定します。

(6) 社会人入試

〔教育福祉科学部, 経済学部〕

〔社会人入試〕

実施学部 学科等名	教育福祉科学部	経済学部
	情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野, スポーツ・健康分野〉	経済学科 経営システム学科 地域システム学科
募集人員	若干名 (定員内)	若干名 (定員内)
<p>〔出願資格〕</p> <p>平成26年4月1日現在で, 下記1～3に示すいずれかの基礎資格取得後, 社会人経験を5年以上有する満23歳以上の者です。</p> <p>なお, 社会人経験には, 家事従事期間及び定職を持ち定時制, 夜間又は通信制の学校 (大学を含む) に在学した期間が含まれます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 		
選 抜 方 法 等	教育福祉科学部	経 済 学 部
	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し, 小論文, 面接及び提出書類を総合して選考します。 ただし, 情報社会文化課程総合表現コースの志願者には, 面接に代えて実技検査を課します。	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し, 小論文, 面接及び提出書類を総合して選考します。
出 願 期 間	平成 26 年 1 月 20 日 (月) ～24 日 (金)	
選 抜 期 日	平成 26 年 2 月 7 日 (金)	
合 格 者 発 表 日	平成 26 年 2 月 17 日 (月)	

【注】教育福祉科学部情報社会文化課程社会文化コースを志望する者で英検の資格や TOEIC スコア等を有する者は, 面接の参考資料としますので, 資格証明書等の写しを入学志願書とともに提出してください。

〔医学部〕

〔社会人入試〕

実施学部 学科名	医学部看護学科
募集人員	若干名（定員内）
<p>〔出願資格〕</p> <p>次の各号のいずれかに該当する者のうち、平成26年4月1日現在、社会人経験4年以上を有する年齢25歳以上の者で、合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>なお、社会人経験には、家事従事期間及び定職を持ち定時制又は通信制の高等学校に在学した期間を含みます。</p> <p>1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者</p> <p>2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>3. 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p>	
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、出願書類、小論文及び面接を総合評価の上、合格者を決定します。
出願期間	平成25年7月22日（月）～26日（金）
選抜期日	平成25年8月20日（火）
合格者発表日	平成25年9月6日（金）

(7) 私費外国人留学生入試

実施学部学科等名	教育福祉科学部	経済学部	工学部
	学校教育課程 発達教育コース【注1】 〈教育学, 教育心理学, 幼年教育選修〉 特別支援教育コース 教科教育コース【注1】 〈国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭科, 英語選修〉 情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野, スポーツ・健康分野〉 生活環境福祉コース 〈生活分野, 環境分野〉	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	機械・エネルギー システム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注2】
募集人員	若干名 (定員内)	若干名 (定員内)	若干名 (定員内)
<p>〔出願資格〕 下記1及び2を共に満たしていること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国籍を有しない者で、外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2014年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 2. 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」(2012年度の第1回, 第2回又は2013年度の第1回, 第2回の成績の利用を可とするが、複数回受験した者は、出願時にいずれかを指定すること)を受験し、学部ごとに下記の要件を満たしている者 <p>(教育福祉科学部) 次頁の教育福祉科学部のコース・分野で課せられている全試験科目を受験し、日本語の「読解」, 「聴解・聴読解」の総得点及び記述の得点が共に5割以上であること。</p> <p>(経済学部) 次頁の経済学部で課せられている全試験科目を受験し、日本語の「読解」, 「聴解・聴読解」の総得点が180点以上であること、及び総合科目と数学の得点の合計が200点以上であること。</p> <p>(工学部) 次頁の工学部で課せられている全試験科目を受験し、日本語の総得点が5割以上であること。</p>			

日本留学試験で課す科目について

実施学部学科等名		利用科目	数学の選択	理科の選択	出題言語
教育福祉科学部	学校教育課程 発達教育コース【注1】 〈教育学, 教育心理学, 幼年教育選修〉 特別支援教育コース 教科教育コース【注1】 〈国語, 社会, 音楽, 美術, 保健体育, 家庭科, 英語選修〉 情報社会文化課程 社会文化コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野, スポーツ・健康分野〉 生活環境福祉コース〈生活分野〉	日本語 総合科目 数 学	コース1 (文系)	(該当なし)	日本語
	学校教育課程 教科教育コース【注1】 〈数学, 理科, 技術選修〉 情報社会文化課程 情報教育コース 人間福祉科学課程 生活環境福祉コース〈環境分野〉	日本語 理 科 数 学	コース2 (理系)	物理 } 化学 } から 生物 } 2科目	日本語
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	日本語 総合科目 数 学	コース1 (文系)	(該当なし)	日本語 又は 英 語
工学部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注2】	日本語 理 科 数 学	コース2 (理系)	物理 } 化学 } から 生物 } 2科目	日本語 又は 英 語

出 願 期 間	2014年 1月20日(月)～24日(金)
選 抜 期 日	2014年 2月 7日(金)
合格者発表日	2014年 2月17日(月)
選 抜 方 法 等	日本留学試験並びに本学で実施する学力検査等(次頁)及び出願書類を総合して選考します。

本学で実施する学力検査等について

実施学部学科等名		検査科目等
教育学部	学校教育課程 発達教育コース【注1】 〈教育学，教育心理学，幼年教育選修〉 特別支援教育コース 教科教育コース【注1】 〈国語，社会，数学，理科，技術，家庭科，英語選修〉 情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野〉 生活環境福祉コース 〈生活分野，環境分野〉	小論文 面接
	学校教育課程 教科教育コース【注1】 〈音楽，美術，保健体育選修〉 情報社会文化課程 総合表現コース 人間福祉科学課程 心理健康福祉コース 〈スポーツ・健康分野〉	小論文 面接 簡単な実技検査
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	数学又は英語から1教科 「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 「英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング」 小論文 面接
工学部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科	理 科 「物理Ⅰ・物理Ⅱ」 英 語 「リーディング・ライティング」 数 学 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 ※数学Bの出題範囲：数列，ベクトル 面接
	知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注2】	理 科 「物理Ⅰ・物理Ⅱ」又は「化学Ⅰ・化学Ⅱ」 から1科目 英 語 「リーディング・ライティング」 数 学 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 ※数学Bの出題範囲：数列，ベクトル 面接

【注1】発達教育コース，教科教育コースの各選修への振り分けは，本人の希望と1年生前学期における成績をもとに，1年生後学期から各選修への所属を決定します。

【注2】工学部福祉環境工学科には，建築コースとメカトロニクスコースの2コースがあります。合格者は，志願時に希望したコースに所属して学びます。

3. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、下記要領で申し出てください。

(1) 申出期限

募集要項にて公表します。ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点ですみやかに申し出てください。

(2) 申出方法

申請書（健康診断書等必要書類添付）を提出し、必要な場合は、本学において、志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

4. 震災により被災した者、または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした者の事前相談

東日本大震災により被災した入学志願者、または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした入学志願者で、本学の受験に際し特別な措置が必要な者、及び修学上特別な配慮が必要な者は、下記要領で申し出てください。

(1) 申出期限

募集要項及び本学ホームページにて公表します。

(2) 申出方法

志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等から、直接または電話により申し出てください。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

なお、東日本大震災に関する入試情報については、本学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に詳細を掲載しています。

5. 入試過去問題の使用について

大分大学は、「入試過去問題活用宣言」に参加を表明しております。ただし、出題科目である「数学」と「小論文」並びに教育福祉科学部の「生活認識を問う問題」は参加しません。

(1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で過去に出された問題を使用して出題することがあります。

なお、過去問題は必ず使用するとは限りません。

(2) 入試過去問題を使用して出題する場合は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、入試過去問題を使用した場合は、入学試験終了後、受験者に分かる形で使用過去問題を公表します。

(3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細および参加大学の一覧は、次のホームページで公表していません。

<http://www.nyushikakomon.jp/>

6. 平成25年度入学者選抜に関する入試状況

選抜区分	推薦入試				AO入試				特別入試(帰・中・社・私)				一般入試(前期日程)				一般入試(後期日程)				合計							
	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	
教育福祉科学部	発達教育コース																											
	特別支援教育コース	5	14	14	5																							
	教科教育コース	13	32	32	14																							
	学校教育課程 計	18	46	46	19																							
	社会文化コース	5	10	10	5																							
	情報教育コース	5	5	5	5																							
	総合表現コース	5	6	6	3																							
	情報社会文化課程 計	15	21	21	13																							
	社会福祉コース	6	21	21	5																							
	心理健康	5	17	17	5																							
福祉コース	3	10	10	3																								
スポーツ・健康																												
生活環境	2	3	3	3																								
福祉コース	2	2	2	2																								
人間福祉科学課程 計	18	53	53	18																								
教育福祉科学部 計	51	120	120	50																								
経済学部																												
経営システム学科	80	123	123	81	15	46	37	15	15	15																		
地域システム学科																												
経済学部 計	80	123	123	81	15	46	37	15	15	15																		
医学部																												
医学科					35	208	83	35	34																			
看護学科	10	39	39	10																								
医学部 計	10	39	39	10	35	208	83	35	34																			
工学部																												
機械・エネルギーシステム工学科	12	21	21	15																								
電気電子工学科	14	35	34	12																								
知能情報システム工学科	15	37	37	15																								
工学部 計	12	13	13	11																								
応用化学科	5	8	8	6																								
福祉環境工学科(建築コース)	8	29	29	8																								
福祉環境工学科(マカトロニクスコース)	66	143	142	67																								
工学部 計	207	425	424	208	50	254	120	50	49																			
合計																												
募集					219	2,121	891	298	243																			
志願					6,042	20,141	9,930	6,966	615																			
受験					2,192	2,121	891	298	243																			
合格					1,080	4,862	3,411	1,268	1,123																			
入学					370	1,716	1,241	432	388																			

平成25年度一般入試合格者の成績

【前期日程】

学 部	学科・課程(コース・分野)	募集人員	合格者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育福祉科学部	学校教育課程						
	発達教育コース	19	21	650	467.00	395.00	417.38
	特別支援教育コース	3	3	650			
	教科教育コース	41	45	650	485.00	344.00	429.36
	情報社会文化課程						
	社会文化コース	7	8	650			381.38
	情報教育コース	11	14	650	443.00	351.00	380.29
	総合表現コース	7	10	650	511.00	430.00	469.50
	人間福祉科学課程						
	社会福祉コース	24	26	650	514.00	357.00	403.65
	心理健康福祉コース	14	16	650	473.00	395.00	425.88
	(心理分野)	7	8	650			444.25
	(スポーツ・健康分野)	7	8	650			407.50
	生活環境福祉コース	20	23	650	460.00	392.00	417.30
(生活分野)	10	11	650	447.00	392.00	414.27	
(環境分野)	10	12	650	460.00	403.00	420.08	
経 済 学 部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	120	151	1,000	731.10	613.20	647.22
医 学 部	医学科	65	66	1,050	831.60	703.10	746.88
	看護学科	35	38	550	418.20	330.40	355.54
工 学 部	機械・エネルギーシステム工学科	53	60	1,025	732.05	567.85	621.69
	電気電子工学科	52	58	1,025	734.50	549.80	604.87
	知能情報システム工学科	44	53	1,025	707.50	553.10	611.17
	応用化学科	38	43	1,025	811.50	599.90	647.02
	福祉環境工学科 建築コース	35	39	1,025	737.05	578.30	636.11
	福祉環境工学科 メカトロニクスコース	16	20	1,025	662.80	550.65	596.36

【後期日程】

学 部	学科・課程(コース・分野)	募集人員	合格者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育福祉科学部	学校教育課程						
	発達教育コース	6	8	550			362.63
	特別支援教育コース	2	3	550			
	教科教育コース	11	17	550	428.00	356.00	373.76
	情報社会文化課程						
	社会文化コース	3	4	500			
	情報教育コース	4	8	500			317.88
	総合表現コース	3	6	500			364.17
	人間福祉科学課程						
	社会福祉コース	5	8	600			382.13
	心理健康福祉コース	8	9	600			413.44
	(心理分野)	3	3	600			
	(スポーツ・健康分野)	5	6	600			399.33
	生活環境福祉コース	6	7	600			390.29
(生活分野)	3	4	600				
(環境分野)	3	3	600				
経 済 学 部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	90	128	700	510.70	409.10	442.13
医 学 部	医学科	—	—	—	—	—	—
	看護学科	15	17	550	421.00	370.40	395.88
工 学 部	機械・エネルギーシステム工学科	15	15	1,100	839.400	740.875	771.510
	電気電子工学科	14	25	1,100	830.950	753.500	785.000
	知能情報システム工学科	11	11	1,100	811.925	755.225	773.970
	応用化学科	10	14	1,100	855.425	768.625	800.640
	福祉環境工学科 建築コース	10	12	1,100	866.500	770.050	800.690
	福祉環境工学科 メカトロニクスコース	6	6	1,100			752.620

- ※ 追加合格者は除く。
- ※ 合格者10人未満の場合は、平均点のみ開示。
- ※ 合格者が5人以下の場合は、個人情報となるので不開示。

7. 平成 27 年度入学者選抜方法について - 予告 -

平成 27 年度大分大学入学者選抜（一般入試・A O 入試）における実施教科・科目等について(予告)

平成 24 年度から実施している新高等学校学習指導要領による「数学」，「理科」を含む平成 27 年度大学入試センター試験利用教科・科目及び個別学力検査等の出題教科・科目については，「平成 27 年度大分大学入学者選抜（一般入試・A O 入試）における実施教科・科目等(予告)について」のとおりとします。

なお，現時点(平成 25 年 7 月)での内容であり，今後，変更する可能性もありますので，本学からの発表についてご注意ください。

(留意事項)

1 大学入試センター試験

(1) 平成 27 年度大学入試センター試験の「利用教科・科目の採用方法」，「配点」及び「得点の換算方法」等の詳細については，大学入試センターが試験時間及び配点等を決定した後に，改めて公表します。

(2) 大学入試センター試験の「理科」について

- ①「基礎を付した科目」とは，「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」を指します。
- ②「基礎を付さない科目」とは，「物理」「化学」「生物」「地学」を指します。
- ③「同一名称を含む科目」とは，「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」，「地学基礎」と「地学」を指します。

2 個別学力検査

個別学力検査等の「数学」，「理科」の出題範囲について，今回，「平成 27 年度大分大学入学者選抜（一般入試）における「数学」，「理科」の出題範囲について(予告)」のとおり公表します。

なお，個別学力検査の配点等については，確定次第，改めて公表します。

平成27年度大分大学入学者選抜（一般入試）における
「数学」、「理科」の出題範囲について(予告)

(1) 数学

教育福祉科学部, 経済学部

個別学力検査の出題教科・科目	出題範囲
数学Ⅰ	すべての項目
数学Ⅱ	すべての項目
数学A	「場合の数・確率」, 「図形の性質」の2項目
数学B	「数列」, 「ベクトル」の2項目

医学部

個別学力検査の出題教科・科目	出題範囲
数学Ⅰ	すべての項目
数学Ⅱ	すべての項目
数学Ⅲ	すべての項目
数学A	すべての項目
数学B	「数列」, 「ベクトル」の2項目

工学部

個別学力検査の出題教科・科目	出題範囲
数学Ⅰ	すべての項目
数学Ⅱ	すべての項目
数学Ⅲ	すべての項目
数学A	「場合の数・確率」, 「図形の性質」の2項目
数学B	「数列」, 「ベクトル」の2項目

(2) 理科

教育福祉科学部

物理は, 「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
化学は, 「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
生物は, 「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
地学は, 「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

医学部

物理は, 「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
化学は, 「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
生物は, 「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

工学部

物理は, 「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
化学は, 「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

※ 旧教育課程で学習した受験者に不利にならないよう配慮して出題します。

平成27年度大分大学入学者選抜（一般入試）における実施教科・科目等

【教育福祉科学部・前期日程】

学部 (課程・コース等)	試験区分	個別学力検査の教科・科目等	備考
<p>学 校 教 育 課 程</p> <p>発 達 教 育 コ ー ス</p>	<p>大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目</p> <p>国 語 「国語」 1 科目</p> <p>地理歴史 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から 2 科目</p> <p>公 民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」</p> <p>※ 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。</p> <p>数 学 「数学Ⅰ・数学A」 1 科目 「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から 1 科目</p> <p>理 科 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から 2 科目又は「物理」「化学」「生物」「地学」から 1 科目</p> <p>外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から 1 科目 (5教科7～8科目又は6教科7～8科目)</p>	<p>個別学力検査は小論文と1教科(理科は1科目)又は小論文と実技です。 なお、教科教育コースは教科・科目等の複数選択はできません。</p> <p>小論文と 英語〔英語Ⅱ〕</p>	
<p>特別支援 教育コース</p>		<p>小論文と 国語 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B〕 から 英語〔英語Ⅱ〕 1 教科 (複数教科選択可)</p>	

学部 (課程・コース等)	試験区分	個別学力検査の教科・科目等	備考
教育学部 福祉教育課程 学校教育課程 社会科学部	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目 国語 「国語」 1科目 数学 「数学Ⅰ・数学A」 1科目 「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 地理歴史 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 ※「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、 「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の 選択はできません。 理科 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 から2科目又は「物理」「化学」「生物」「地学」 から1科目 又は 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 から2科目と「物理」「化学」「生物」「地学」から 1科目(同一名称を含む科目の選択不可) 又は「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7～8科目又は6教科7～8科目)	小論文と 国語 社会認識を問う問題 数学 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B」 理科 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 「地学基礎・地学」 から1科目 から1科目 実技 「音楽」 実技 「美術」 実技 「保健体育」 生活認識を問う問題 英語 「英語Ⅱ」	

試験区分 学部 (課程・コース等)	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等	備考
社会科学文化 コース 情報社会文化 課程	国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から2科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 ※「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 数学「数学Ⅰ・数学A」 1科目 「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目又は「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7～8科目又は6教科7～8科目)	国語と 英語〔英語Ⅱ〕	
情報社会文化 課程 情報教育 コース	国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 数学「数学Ⅰ・数学A」 1科目 「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目と「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目(同一名称を含む科目の選択不可) 又は「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7～8科目)	英語〔英語Ⅱ〕と 国語 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 から1教科 (複数教科選択可)	

学部 (課程・コース等)	試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等	備考
教育学福祉科学部 情報社会文化課程	総合表現 コース	国語 「国語」 1科目 地理歴史 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目 理科 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目又は「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 数学 「数学Ⅰ・数学A」1科目と「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (3教科3～4科目)	実技 から1科目又は2科目 計2科目	
	社会福祉 コース 心理分野 スポーツ・健康分野 心理健康福祉コース	国語 「国語」 1科目 地理歴史 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」 ※「地理歴史」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 数学 「数学Ⅰ・数学A」 1科目 「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目又は「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目又は6教科7～8科目 (5教科7～8科目又は6教科7～8科目)	小論文と英語〔英語Ⅱ〕 小論文と国語 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕から1科目 英語〔英語Ⅱ〕(複数教科選択可)	個別学力検査は小論文と1教科又は実技と1教科です。
人間福祉科学課程			実技と国語 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕から1科目 英語〔英語Ⅱ〕(複数教科選択可)	

学部 (課程・コース等)	試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等	備考
教育学部 人間福祉科学課程 生活環境福祉コース	生活分野	国語 「国語」 1科目 数学 「数学Ⅰ・数学A」 1科目 「数学Ⅱ・数学B」 「工業数理基礎」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」 から1科目 地理歴史 「世界史A」「世界史B」「日本史A」 「日本史B」「地理A」「地理B」 公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 ※ 「地理歴史」においては、同一名称のA・B 出題科目、「公民」においては、同一名称を 含む出題科目同士の選択はできません。 理科 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 「地理基礎」から2科目又は「物理」 「化学」「生物」「地学」から1科目 又は 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 「地理基礎」から2科目と「物理」 「化学」「生物」「地学」から1科目 (同一名称を含む科目の選択不可) 又は 「物理」「化学」「生物」「地学」から 2科目 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7～8科目又は6教科7～8科目)	小論文と 国語 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 から 英語〔英語Ⅱ〕 } 1教科 (複数教科選択可)	
	環境分野	国語 「国語」 1科目 地理歴史 「世界史A」「世界史B」「日本史A」 「日本史B」「地理A」「地理B」 公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 数学 「数学Ⅰ・数学A」 1科目 「数学Ⅱ・数学B」 「工業数理基礎」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」 から1科目 理科 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 「地理基礎」から2科目と「物理」 「化学」「生物」「地学」から1科目 (同一名称を含む科目の選択不可) 又は「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7～8科目)	小論文と 理科〔物理基礎・物理〕 〔化学基礎・化学〕 〔生物基礎・生物〕 〔地学基礎・地学〕 } から1科目	

【注1】大学入試センター試験及び個別学力検査について

この表中の「 」及び「 」書きは、科目の区分を示します。

【注2】大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

【教育福祉科学部・後期日程】

学部 (課程・コース等)	試験区分	個別学力検査 の教科・科目等	備考
教育福祉科学部	発達教育 コース	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目 国語「国語」1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から2科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」 ※「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 数学「数学I・数学A」1科目 「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目又は「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7～8科目又は6教科7～8科目)	
	特別支援 教育コース	国語「国語」1科目 数学「数学I・数学A」1科目 「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」 ※「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 理科「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から1科目 「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7～8科目又は6教科7～8科目)	
学部 (課程・コース等)	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目 国語「国語」1科目 数学「数学I・数学A」1科目 「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」 ※「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 理科「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から1科目 「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7～8科目又は6教科7～8科目)	面接	

試験区分 学部 (課程・コース等)	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査 の教科・科目等	備考
社会文化 コース 教育情報 福祉 社会科学 文化 課程	国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 } から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」 } 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (3教科3科目)	面接	
情報教育 コース	国語「国語」 1科目 数学「数学Ⅰ・数学A」 1科目 「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目又は 「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (4教科5～6科目)		
総合表現 コース	国語「国語」 1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (2教科2科目)	実技	

試験区分		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目		個別学力検査 の教科・科目等	備考
学部 (課程・コース等)	人間福祉科学課程	社会福祉 コース	<p>国語 「国語」 1科目</p> <p>地理歴史 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から2科目</p> <p>公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」</p> <p>※ 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目，「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。</p> <p>数学 「数学Ⅰ・数学A」 1科目 「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目</p> <p>理科 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 から2科目又は 「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目</p> <p>外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7～8科目又は6教科7～8科目)</p>		
	教育福祉科学部	心理分野 スポーツ・健康分野	<p>国語 「国語」 1科目</p> <p>数学 「数学Ⅰ・数学A」 1科目 「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目</p> <p>理科 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 から2科目又は 「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目</p> <p>外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7～8科目又は6教科7～8科目)</p>	面接	
	生活環境福祉コース	生活分野	<p>国語 「国語」 1科目</p> <p>数学 「数学Ⅰ・数学A」 1科目 「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目</p> <p>地理歴史 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」</p> <p>公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」</p> <p>※ 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目，「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。</p> <p>理科 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から1科目 又は 「物理」又は「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 又は 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目と「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 (同一名称を含む科目の選択不可) 又は「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目</p> <p>外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7～8科目又は6教科7～8科目)</p>	面接	

試験区分 学部 (課程・コース等)	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目		個別学力検査 の教科・科目等	備考	
教育福祉科学部	人間福祉科学課程	環境分野	国語 「国語」 1科目 地理歴史 「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」 } 数学 「数学Ⅰ・数学A」 1科目 「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目と「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目 から1科目(同一名称を含む科目の選択不可)又は「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7～8科目)	面 接	

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について
この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【経済学部・前期日程】

試験区分 学部・学科	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等
<p>経済学 経済学 経営システム 学 地域システム 学</p>	<p>国語「国語」1科目</p> <p>地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から2科目</p> <p>公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理, 政治・経済」</p> <p>※「地理歴史」においては, 同一名称のA・B出題科目, 「公民」においては, 同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。</p> <p>数学「数学I」「数学I・数学A」から1科目</p> <p>「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目</p> <p>理科「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目又は「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目</p> <p>外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目</p> <p>(5教科7～8科目または6教科7～8科目)</p>	<p>数学〔数学I・数学II・数学A・数学B〕</p> <p>英語〔英語I・英語II・リーディング・ライティング〕から1教科</p>

【注1】大学入試センター試験及び個別学力検査について
この表中の「 」及び「 」書きは, 科目の区分を示します。

【注2】大学入試センター試験について

ア)「英語」はリスニングテストを含みます。

イ)「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は, 高等学校もしくは中等教育学校において, これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【経済学部・後期日程】

学部・学科 試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の 教科・科目等
経済学部 経済学科 経営システム学科 地域システム学科	国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史A」「世界史B」「日本史A」 「日本史B」「地理A」「地理B」 } から2科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 ※「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 数学「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 } から1科目 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 } 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (4教科5科目または5教科5科目)	小論文

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について
この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限りません。

【医学部・前期日程】

試験区分 学部・学科	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等
医学部 医学科	国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史B」「日本史B」「地理B」 } から1科目 公民「倫理、政治・経済」 数学「数学Ⅰ・数学A」 1科目 「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科「物理」「化学」「生物」から2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7科目)	理科〔物理基礎・物理〕 } から2科目 〔化学基礎・化学〕 〔生物基礎・生物〕 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B〕 1教科 英語〔英語Ⅱ・リーディング・ ライティング〕 1教科 面接{医学を学ぶための適性, コミュニ ケーション能力, 学習意欲などを総合 的に評価します。}
医学部 看護学科	国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史B」「日本史B」「地理B」 } から1科目 公民「倫理、政治・経済」 数学「数学Ⅰ・数学A」 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 } から1科目 理科「物理」「化学」「生物」から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科5科目)	小論文 {課題式や資料式の小論文について解 答させ、論理的思考力, 表現力, 読解 力, 及び看護学を学ぶための適性を評 価します。}

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について
 この表中の「 」及び「 」書きは、科目の区分を示します。

【注2】 大学入試センター試験について
 ア) 看護学科の数学の科目において、複数科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。
 イ) 「英語」はリスニングテストを含みます。
 ウ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

【医学部・後期日程】

学部・学科	試験区分	個別学力検査の教科・科目等
<p>医学部</p> <p>看護学科</p>	<p>大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目</p> <p>国語「国語」 1科目</p> <p>地理歴史「世界史B」「日本史B」「地理B」 から1科目 公民「倫理、政治・経済」</p> <p>数学「数学Ⅰ・数学A」 から1科目 「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」</p> <p>理科「物理」「化学」「生物」 から1科目</p> <p>外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科5科目)</p>	<p>面接</p> <p>{看護学を学ぶための適性, コミュニケーション能力, 学習意欲などを総合的に評価します。}</p>

【注1】大学入試センター試験について

- ア) この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。
- イ) 数学の科目において、複数科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。
- ウ) 「英語」はリスニングテストを含みます。
- エ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

【工学部・前期日程】

試験区分 学部・学科	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等
機械・エネルギー システム工学科	国語「国語」 1科目 地理歴史「世界史B」「日本史B」「地理B」から1科目 公民「倫理、政治・経済」 数学「数学I・数学A」から1科目 「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」から1科目 「情報関係基礎」	数学〔数学I・数学II・数学III・ 数学A・数学B〕1教科 理科〔物理基礎・物理〕1教科
電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科	理科「物理」「化学」 2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目)	数学〔数学I・数学II・数学III・ 数学A・数学B〕1教科 理科〔物理基礎・物理〕から1科目 〔化学基礎・化学〕

【注1】大学入試センター試験及び個別学力検査について

この表中の「 」及び「 」書きは、科目の区分を示します。

【注2】大学入試センター試験について

ア)「英語」はリスニングテストを含みます。

イ)「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣

の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

【注3】個別学力検査について

ア) 機械・エネルギーシステム工学科及び電気電子工学科は、理科〔物理基礎・物理〕1科目とします。

イ) 第2志望以下の個別学力検査受験科目（理科）は、〔物理基礎・物理〕〔化学基礎・化学〕のいずれでもかまいません。

【工学部・後期日程】

学部・学科	試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等	備考
工学部 機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科	国語「国語」1科目 地理歴史「世界史B」「日本史B」「地理B」から1科目 公民「倫理、政治・経済」 数学「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」から1科目 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」から1科目 「情報関係基礎」 理科「物理」「化学」2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目)	面接		

【注1】大学入試センター試験及び個別学力検査について
この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。

【注2】大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

平成 27 年度大分大学入学者選抜における実施教科・科目等

大学入試センター試験を課す A O 入試

【医学部】

試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目
学部・学科	
医 学 部	医 学 科
	国 語「国語」 1 科目 地理歴史「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」 } から 1 科目 公 民 「倫理, 政治・経済」 数 学「数学 I・数学 A」 1 科目 「数学 II・数学 B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から 1 科目 理 科「物理」「化学」「生物」 から 2 科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から 1 科目 (5 教科 7 科目)

【注 1】 大学入試センター試験について
この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。

【注 2】 大学入試センター試験について
 ア) 「英語」 はリスニングテストを含みます。
 イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

8. 募集要項の発表時期・請求方法

1. 募集要項の発表

出願手続、出願書類、出願期日、案内図、その他の必要な事項を記載した学生募集要項を、次のとおり発表する予定です。

- | | |
|--|-------|
| (1) 一般入試学生募集要項 | 12月上旬 |
| (2) 推薦入試学生募集要項 | 10月上旬 |
| (3) 帰国子女入試、中国引揚者等子女入試、社会人入試、私費外国人留学生入試
学生募集要項 | 12月上旬 |
| (4) A〇入試（経済学部、医学部）学生募集要項 | 6月中旬 |
| (5) 医学部看護学科社会人入試学生募集要項 | 6月下旬 |

2. 募集要項の請求方法

入試別 請求方法 (配布期間)	一般入試	推薦入試 A〇入試	帰国子女入試 社会人入試 中国引揚者等子女入試 私費外国人留学生入試												
<p>テレメールで請求する場合</p> <p>(推薦入試は 11月1日まで) (一般入試は 1月25日まで)</p> <p>※ 配布期間後は、本学に直接請求してください。</p> <p>テレメール</p>	<p>・ 本学ホームページから資料請求する場合のアドレス http://www.oita-u.ac.jp/ →入試情報 →資料請求</p> <p>・ 携帯電話で請求する場合のアドレス http://telemail.jp/</p> <div style="text-align: center;">  <p>※対応する携帯電話・スマートフォンで読み取れます。</p> </div> <p>・ 下記の電話番号に電話し、ガイダンスに従い希望する資料番号、送付先等を入力してください。受付から2～3日程度で資料と手数料等支払方法の書類が送付されます。ただし、郵送開始日までのご請求は予約受付となり、郵送開始日になりましたら一斉に郵送します。送料は、お届けする資料に同封された支払方法によりお支払ください。</p> <p>1. 電話番号 (IP電話) 050-8601-0101 ※IP電話 一般回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。</p> <p>2. 資料請求番号</p> <table border="0"> <tr><td>大学案内</td><td>587882</td></tr> <tr><td>一般入試募集要項</td><td>587852</td></tr> <tr><td>一般入試募集要項+大学案内</td><td>547952</td></tr> <tr><td>推薦入試募集要項</td><td>587862</td></tr> <tr><td>A〇入試募集要項（経済学部）</td><td>547972</td></tr> <tr><td>A〇入試募集要項（医学部）</td><td>547992</td></tr> </table> <p>テレメールについての問い合わせ先 テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102 (9:30～18:00)</p>	大学案内	587882	一般入試募集要項	587852	一般入試募集要項+大学案内	547952	推薦入試募集要項	587862	A〇入試募集要項（経済学部）	547972	A〇入試募集要項（医学部）	547992		
大学案内	587882														
一般入試募集要項	587852														
一般入試募集要項+大学案内	547952														
推薦入試募集要項	587862														
A〇入試募集要項（経済学部）	547972														
A〇入試募集要項（医学部）	547992														

入 試 別 請求方法 (配布期間)	一 般 入 試	推 薦 入 試 A O 入 試	帰国子女入試 社会人入試 中国引揚者等子女入試 私費外国人留学生入試
モバっちょで請求 する場合 (推薦入試は 11月1日まで) (一般入試は 1月25日まで) ※ 配布期間後は、本 学に直接請求して ください。	(1)携帯電話から請求する場合 ※「モバっちょ」では、資料請求料金を携帯電話の通話料 金と一緒に支払いできますので、郵便局等に払込に行く必 要がなく、最も安く請求できます。  ※対応する携帯電話・スマートフォ ンで読み取れます。 (2)パソコンから請求する場合 【URL】 http://djcm-b.jp/oita-u3/ ※支払いは、クレジットカード決済またはコンビニエンスス トアでの後払いとなります。 「モバっちょ」に関する請求方法・発送についての問い合わ せ先 大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター 電話 050-3540-5005 (平日 10:00~18:00)		
郵送により本学に直 接請求する場合	返信用封筒(角形2号の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、580円切手を 貼ったもの)を下記あてに郵送してください。なお、どの募集要項が必要か明記 してください。 大学からは、請求のあった要項と大学案内を返送します。		
郵便局等で請求する 場合(10月より案内 開始、1月23日まで) ※配布期間後は、本学 に直接請求してく ださい。	郵便局、高等学校及び予備校に設置さ れている「全国国公立大学・短期大学、 私立大学・短期大学募集要項(願書)請 求申込書」の払込取扱票に必要事項を記 入し、郵便局窓口で現金を添えて申し込 んでください。受付から1週間程度で郵 送されます。		

※ 募集要項等は、大分大学学生支援部入試課でも配布しています。
(休日を除く月～金 9時～17時)

※ 学生募集要項等請求及び問い合わせ先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-7471 FAX 097-554-7472

E-mail nyusiken@oita-u.ac.jp